



長泉町 観光交流 ビジョン

令和4年3月
長泉町

目次

| | |
|---------------------------|-----------|
| 序 章 | 1 |
| 1 策定のねらい | 1 |
| 2 ビジョンの期間 | 1 |
| 3 ビジョンの位置づけ | 2 |
| 4 計画の策定体制 | 2 |
| 第1章 観光交流の現状 | 3 |
| 1 観光交流動向 | 3 |
| 2 主な地域資源 | 5 |
| 3 主な関連団体の取組 | 15 |
| 4 第2期観光交流ビジョン下における事業の実施状況 | 18 |
| 5 観光交流ビジョン検討ワークショップの概要 | 20 |
| 第2章 観光交流の課題 | 23 |
| 第3章 長泉町観光交流ビジョン | 26 |
| 1 観光交流に関する基本的考え方 | 26 |
| 2 観光交流の方針 | 28 |

序 章

1 策定のねらい

これまで長泉町においては、平成 17 (2005) 年度に「長泉町観光交流ビジョン」を策定し、平成 27 (2015) 年度には、その成果と課題を引き継ぎ、内容を見直した「長泉町観光交流ビジョン(第 2 期)」の策定により、本町の観光交流の施策を展開してきましたが、令和 2 (2020) 年 2 月以降は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により生活様式の転換や観光交流への大きな影響等、社会情勢は大きく変化しています。

また、令和 3 (2021) 年 3 月に策定した、町の最上位計画である「第 5 次長泉町総合計画」、並びに「第 2 次長泉町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に合わせて、本町の観光交流も新たな町の将来像にあわせて推進を図ることが必要となります。

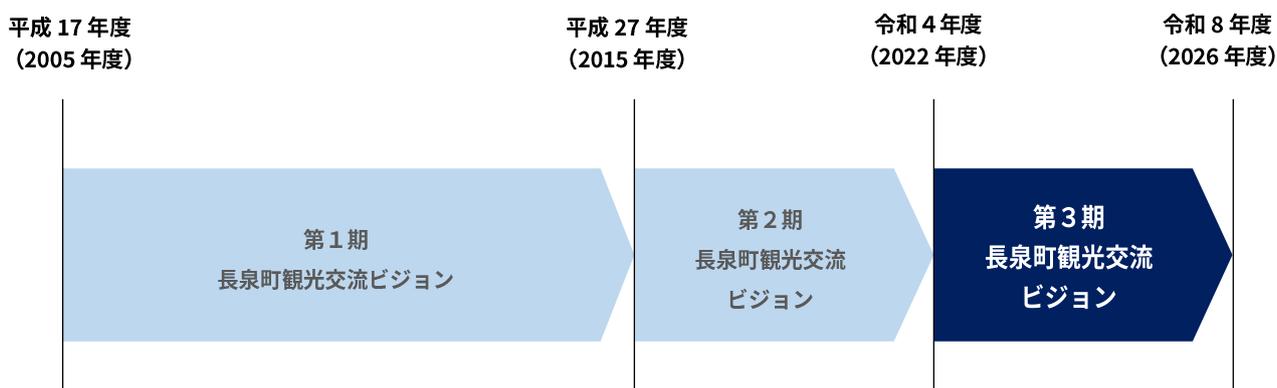
このような町の動向や観光交流を取り巻く近年の情勢変化を踏まえ、本町の観光交流のあり方や施策の方向性を明らかにし、本町ならではの観光交流の推進を図るために、「長泉町観光交流ビジョン (第 3 期)」を策定します。

2 ビジョンの期間

第 1 期である「長泉町観光交流ビジョン」(平成 17 年度)において、初めて長泉町の観光交流のあり方を示しました。これに基づき、ながいずみ観光交流協会が設立され、観光交流を推進してきました。

それから 10 年後に策定した「長泉町観光交流ビジョン (第 2 期)」(平成 27 年度)では、第 1 期ビジョンの内容から施策方針の幅を拡大し、より多様な観光交流の展開を先導してきました。

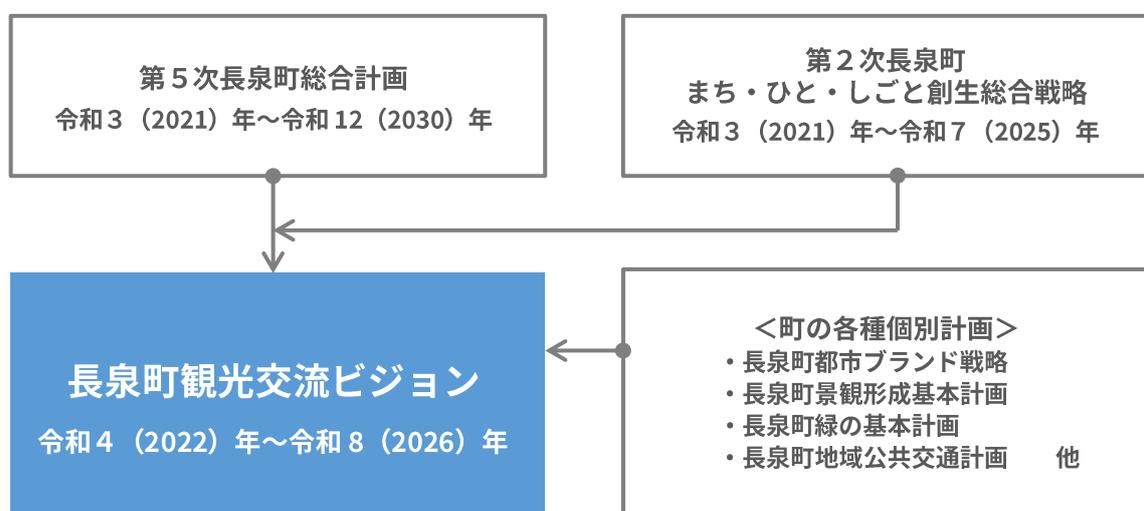
そして、第 3 期となる本ビジョンは、令和 4 (2022) 年度から令和 8 (2026) 年度までの 5 年間として設定し、これまでのビジョンを引き継ぎながら、第 5 次長泉町総合計画等と整合した、長泉町ならではの観光交流のあり方を示していきます。



3 ビジョンの位置づけ

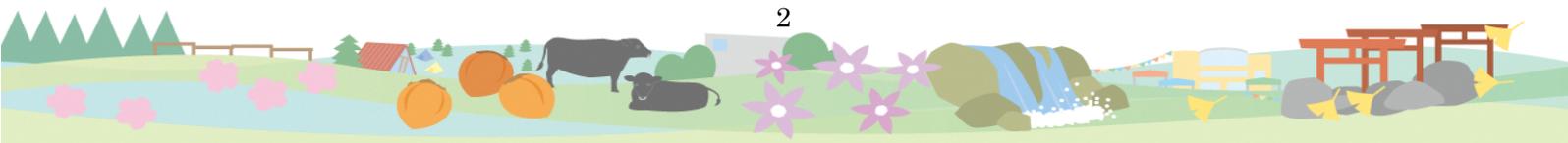
本ビジョンは、本町における今後の観光交流に係る取組の基本的方向性を示したものであり、町民や事業者・各種団体等が自主的かつ積極的な活動を行うための指針として位置づけられるものです。

また、本ビジョンは、国及び県が策定した関連計画との整合・連携を図るとともに、「第5次長泉町総合計画」に即し、本町が策定した上位計画・関連計画との整合・連携を図ります。



4 計画の策定体制

本ビジョンの策定にあたって、町の現状や特性、課題に対応したより実効性の高い内容とするため、学識経験者、観光関連施設、企業、NPO法人、町職員等、観光に関わる各分野に精通した委員からなる「長泉町観光交流ビジョン検討委員会」、「長泉町観光交流ビジョン検討ワーキング」を設置し、多角的な視点から協議及びワークショップを開催し、策定しました。



第1章 観光交流の現状

1 観光交流動向

1) 観光交流客数

「静岡県観光交流の動向」では、「年間の入込客数が1千人以上の施設（地点）、行祭事及びイベント」が観光レクリエーション客数の調査対象とされており、本町では、以下の施設やイベントが調査対象とされています。

■調査対象施設（地点）・行祭事等一覧 [資料：静岡県観光交流の動向]

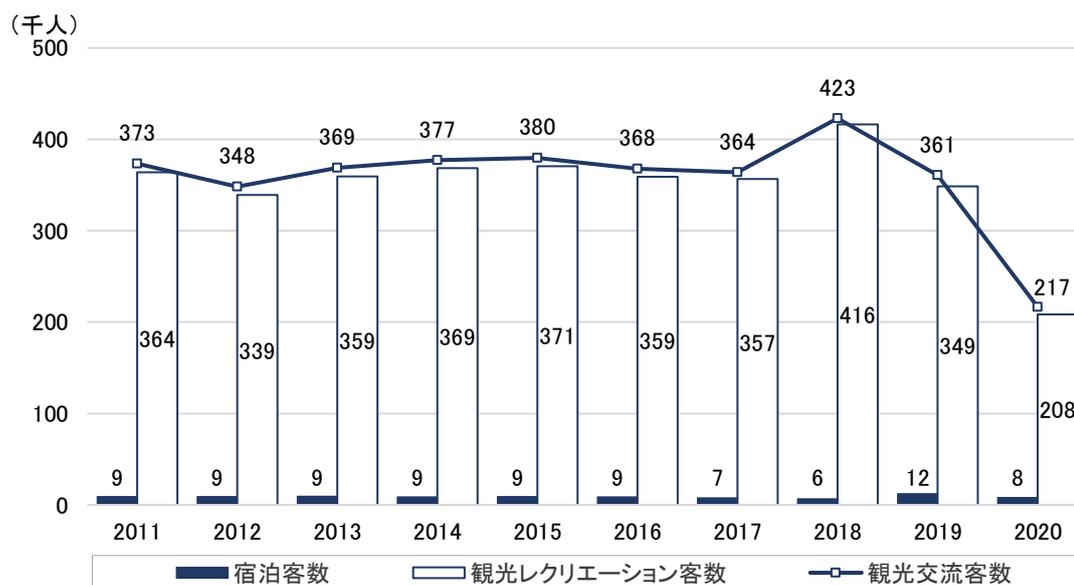
| | |
|-----------------------------|--|
| 学ぶ (見る、体験する) | クレマチスの丘、米山梅吉記念館、鮎壺の滝、伊豆半島ジオパーク長泉ビジターセンター |
| 遊ぶ (楽しむ、リフレッシュする) | 桃沢キャンプ場、富士エースGC、三島GC、桃沢野外活動センターキャンプサイト |
| 触れ合う ¹ (交流する) | 長泉わくわく祭り、長泉町産業祭、さくらフェスタ in 長泉 |

本町の観光交流客数を年度別にみると、37万人前後の水準を維持しています。

平成30(2018)年度に約42万人まで増加していますが、同年4月の伊豆半島ジオパークのユネスコ世界ジオパーク認定と併せて、ビジターセンターの観光レクリエーション客数を計上しはじめたことが要因として考えられます。

令和2(2020)年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりイベント等が中止され、観光交流客数が減少していますが、宿泊客数は例年程度の水準です。

■年度別観光交流客数の推移 [資料：静岡県観光交流の動向]



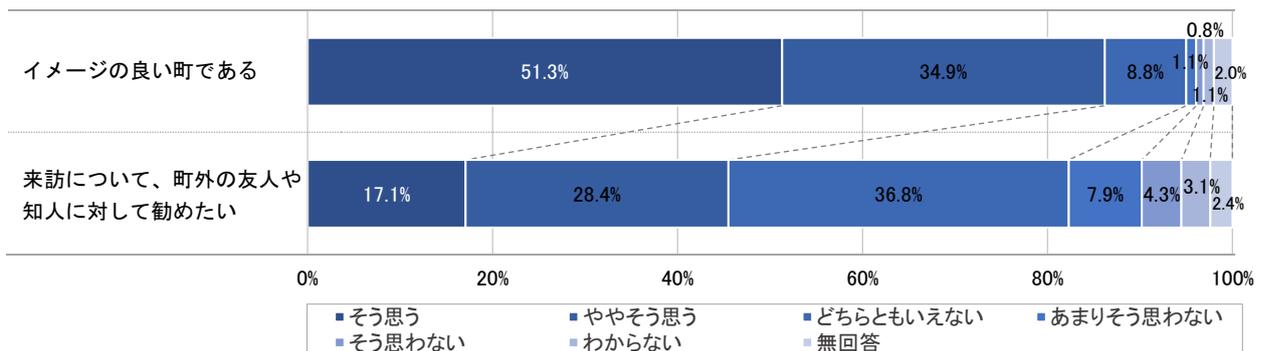
¹ 令和2(2020)年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりイベントが中止となっている。

2) 長泉町住民意識調査による観光交流に関する集計結果

本調査は、令和2（2020）年6月中旬から7月上旬にかけて実施されたもので、本町在住の20歳以上を無作為に3,000人抽出し、郵送にて調査票の配布・回収を行いました。有効回収数は1,783通で、有効回収率は59.4%です。

本町の印象について、「イメージの良い町である」に対して、「思う（そう思う・ややそう思う）」と回答した割合は合わせて86.2%と、町に対するイメージは評価されています。しかし、「来訪について勧めたい」に対する「思う」の回答者の割合は、45.5%と半数以下です。住民にとっては好印象である一方、対外的な魅力への評価は低いことがわかります。

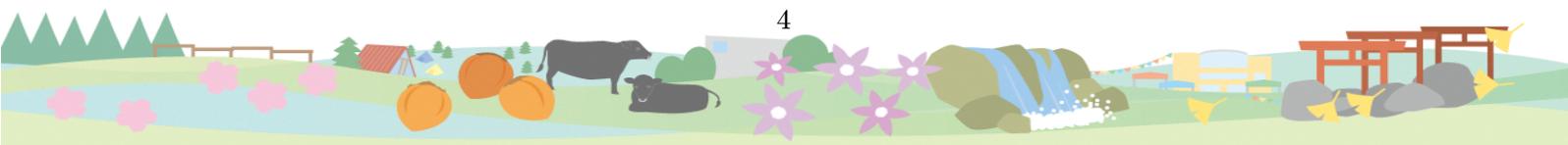
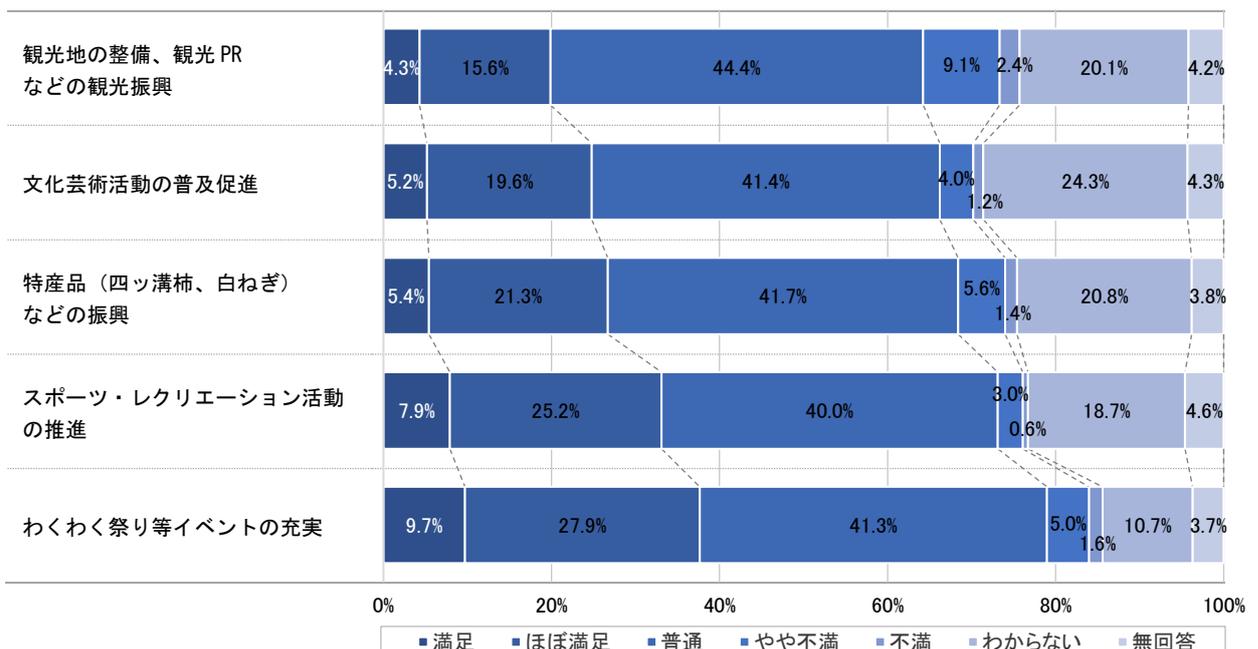
■長泉町の印象に関する調査 [資料：令和2年度長泉町住民意識調査]



観光交流に関連する施策満足度調査では、「観光地の整備、観光PRなどの観光振興」における「満足している（満足・ほぼ満足）」割合は、19.9%と特に低い結果となりました。

「わくわく祭り等イベントの充実」や「スポーツ・レクリエーション活動の推進」は、比較的満足度が高いですが、「特産品などの振興」や「文化芸術活動の普及促進」は、満足度が低い傾向にあります。

■町が行う施策の満足状況調査 [資料：令和2年度長泉町住民意識調査]



2 主な地域資源

1) 自然

本町の4分の3を愛鷹山麓が占めており、火山活動により生み出された地形が特徴的です。北部から南部にかけて広がる、多種多様な自然を楽しむことができます。

(1) 山・山麓

北西部は広い範囲が森林で、登山道では特徴的な植物や生物が観察できます。北から南にかけて緩やかな斜面となっており、駿河平等、眺望のよいスポットがあります。

(2) 水辺

本町には10か所のジオサイトがありますが、その多くは滝や湧き水です。河川沿いにジオサイトが点在しており、緩急ある水辺空間を形成しています。

(3) 自然アクティビティ

自然の地形を活かした公園や様々なアクティビティが体験できるキャンプ場があります。イベント会場としても活用されており、自然を活かした交流が行われています。

(4) 植物

桜やイチョウの並木は、四季折々の景色を楽しむことができます。

(5) ジオサイト

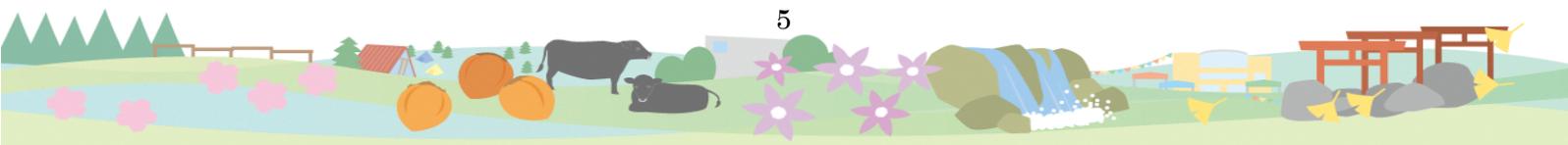
富士山や愛鷹山の噴火により流れ出た溶岩が作り出した特殊な地形や、湧き水等、10か所のジオサイトがあります。山地や丘陵地だけでなく、市街地でも観察することができます。

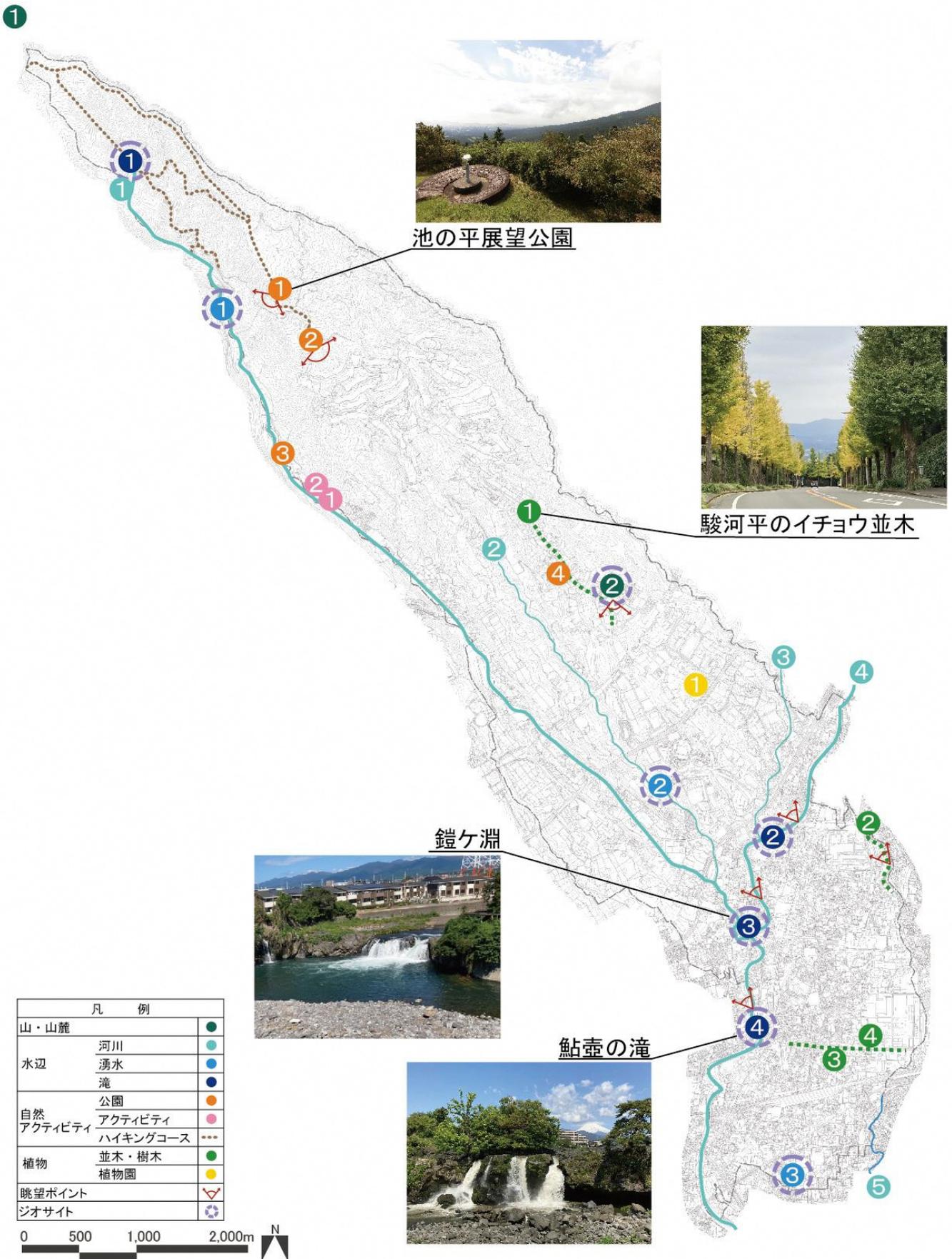
(6) 眺望点

市街地から見える黄瀬川や愛鷹山越しの富士山、駿河湾越しの伊豆半島等、本町ならではの景観を眺望できる地点があります。

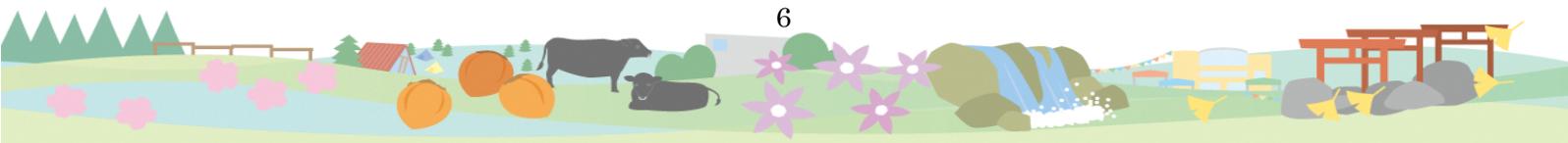
■主な自然資源

| 分類 | 図 No./名称 | | |
|---------------|--------------|---------------------------|----------------------|
| 山・山麓 | ①愛鷹山 | ②駿河平 | |
| 河川 | ①桃沢川 ④黄瀬川 | ②谷津川 ⑤境川 | ③梅の木沢川 |
| 水辺 | 湧き水 | ①愛鷹山水神社 | ②谷津の湧水 ③窪の湧水 |
| | 滝 | ①つるべ落としの滝 ③鎧ヶ淵 | ②牛ヶ淵 ④鮎壺の滝 |
| 自然 アクティビティ | 公園 | ①池の平展望公園 ②森林公園 | ③水と緑の杜公園 ④駿河平自然公園 |
| | キャンプ場 | ①桃沢野外活動センター | ②桃沢キャンプ場 |
| 植物 | 並木 樹木 | ①駿河平のイチョウ並木 ③下土狩の大イチョウ | ②桜堤遊歩道 ④大いちょう通り |
| | 植物園 | ①富士竹類植物園 | |





■主な自然資源



2) 文化芸術・歴史

エリアごとに文化芸術・歴史資源の特徴が異なります。質の高い文化芸術施設のほか、町の産業や環境等、ゆかりのある人物を知ることのできる資料館や史跡等、幅広い文化芸術・歴史資源に恵まれています。

(1) 下土狩駅周辺エリア

祭事やイベント等で利用されている町民に馴染み深い神社や、文化芸術の発信拠点となり得る施設があります。様々な文化芸術に触れ、学ぶことができるエリアです。また、割狐塚稲荷神社や原分古墳等のジオサイトもあり、様々な観点から町への理解を深めることができます。近年は、空き店舗を活用した起業体験事業「チャレンジショップ」やサテライトキャンパスの試験運営等も行っており、新たなにぎわいや交流の創出、文化の醸成が期待できるエリアです。

(2) 城山神社周辺エリア

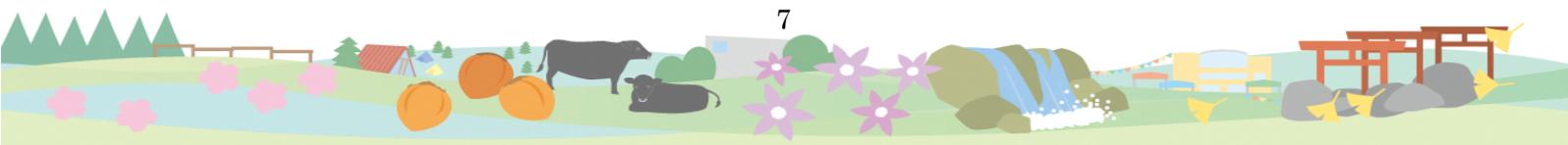
長久保城が所在していたため、周辺には戦国時代の言い伝えや史跡が残り、町の歴史と深く関係しています。また、町にゆかりのある人物に関わる施設もあり、町の歴史に親しみ、学ぶことができるエリアです。

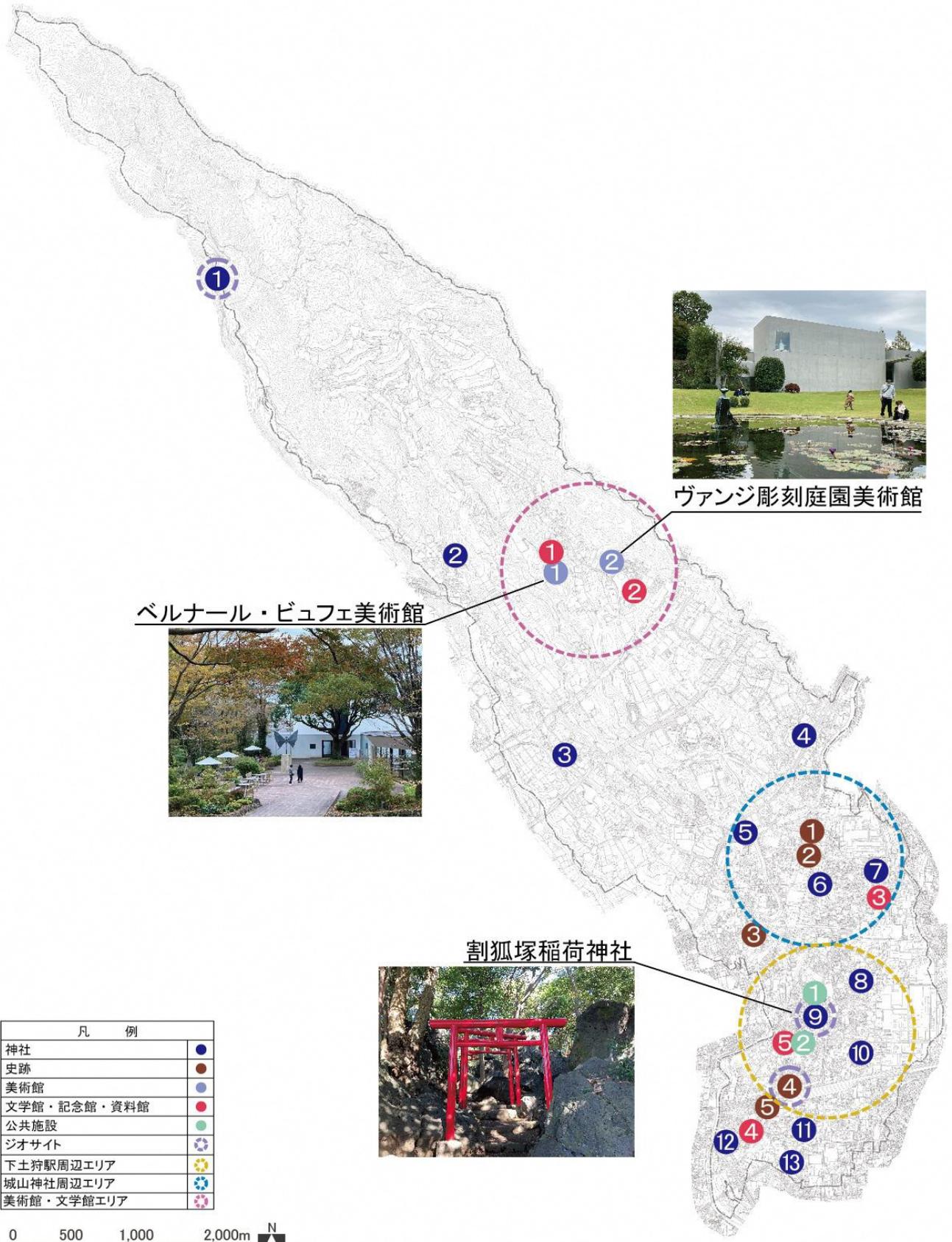
(3) 美術館・文学館エリア

美術館や文学館が集積しているエリアは、自然に囲まれており、心地よい環境の中で芸術を楽しめます。美術館や文学館等、本町でしかみることのできない貴重な展示が多数あります。美術館ごとに個性があり、エリア内では様々な芸術に触れることができます。また、美術館や文学館は、建築や内装にもこだわっているため、洗練された空間や上品なエリアの雰囲気を感じながら周遊することができます。

■主な文化芸術・歴史資源

| 分類 | 図 No./名称 | | | |
|-------------------|--------------------------------------|--------------------------|---------------------------------|-------------------------|
| 神社 | ①愛鷹山水神社 ⑤城山神社 ⑨割狐塚稲荷神社 ⑬天神社 | ②東照宮 ⑥芦ノ湖水神社 ⑩八幡神社 | ③桃澤神社 ⑦日吉神社 ⑪越方神社 | ④愛鷹神社 ⑧日吉神社 ⑫諏訪神社 |
| 史跡 | ①仏名碑 ④原分古墳 | ②五輪塔 ⑤麦原塚古墳 | ③一柳直末公首塚 | |
| 美術館 | ①ベルナール・ビュフェ美術館 | | ②ヴァンジ彫刻庭園美術館 | |
| 文学館 記念館 資料館 | ①長泉町井上靖文学館 ③米山梅吉記念館 ⑤文化財展示館 | | ②静岡サッカーミュージアム ④特種東海製紙(株)・Pam | |
| 公共施設 | ①ベルフォーレ | | ②コミュニティながいずみ | |





ベルナール・ビュフェ美術館



ヴァンジ彫刻庭園美術館

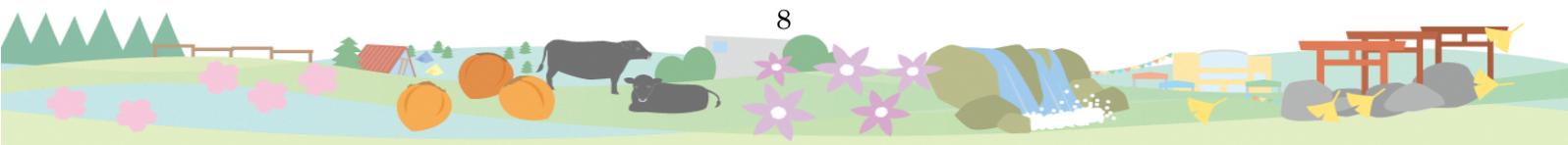
割狐塚稲荷神社



| 凡 例 | |
|-------------|---|
| 神社 | ● |
| 史跡 | ● |
| 美術館 | ● |
| 文学館・記念館・資料館 | ● |
| 公共施設 | ● |
| ジオサイト | ● |
| 下土狩駅周辺エリア | ● |
| 城山神社周辺エリア | ● |
| 美術館・文学館エリア | ● |



■主な文化芸術・歴史資源



3) 健康・運動・スポーツ

健康増進施設や豊富な公園等、健康づくりやスポーツを楽しめる環境が整っていることは本町の魅力の1つです。

(1) 公共施設等

充実した健康増進施設やグラウンド、テニスコート等が整備されています。ウォーキングコースが設定されているほか、町民及び在勤者を対象としたウォーキング促進健康アプリを利用した、「ながいずみちょうどいいWalk」等も実施されています。

(2) 公園

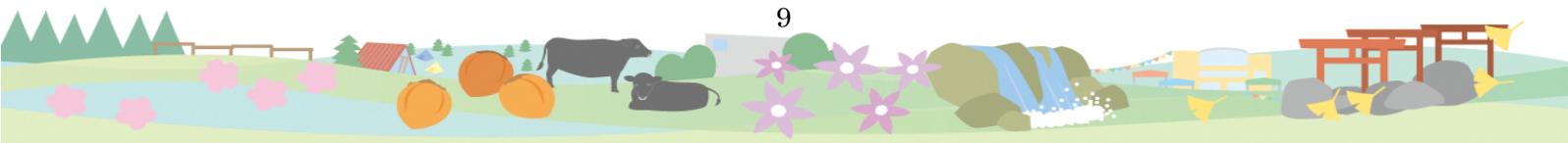
北部には、水と緑の杜公園等の豊かな自然環境を活かした公園があり、家族連れやイベント等により、にぎわいが創出されています。市街地には、大小様々な公園に健康器具、子ども用遊具等があり、多世代により利用されています。

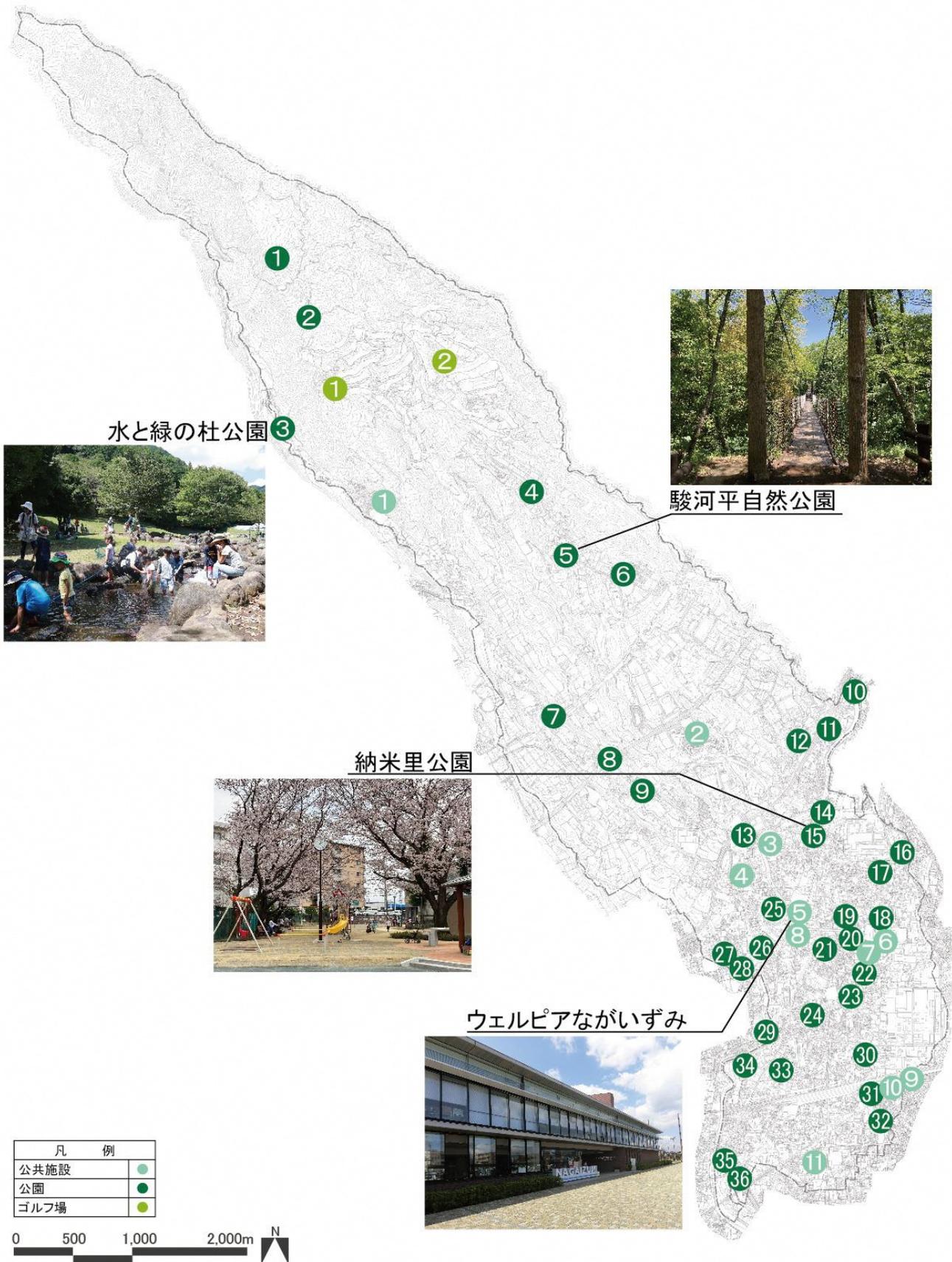
(3) ゴルフ場

長泉沼津 IC から交通アクセスの良い場所にあり、町内外から多くの人に利用されています。

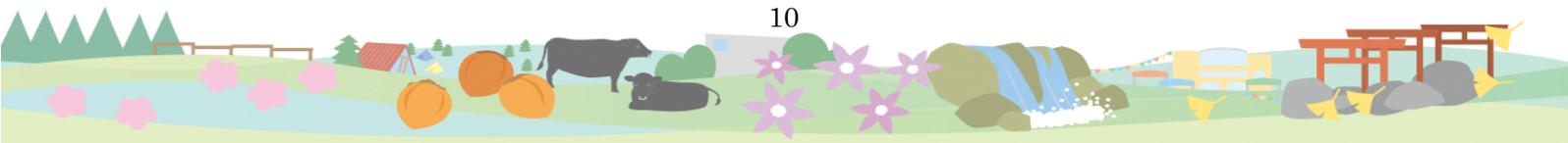
■主な健康・運動資源

| 分類 | 図 No./名称 | | | |
|------|--------------|--------------|------------|--|
| 公共施設 | ①桃沢グラウンド | ②県立静岡がんセンター | ③町民体育館 | |
| | ④北部スポーツ広場 | ⑤ウェルピアながいずみ | ⑥勤労者体育センター | |
| | ⑦中土狩テニスコート | ⑧福祉会館 | ⑨南部スポーツ広場 | |
| | ⑩御嶽堂公園テニスコート | ⑪竹原グラウンド | | |
| 公園 | ①池の平展望公園 | ②森林公園 | ③水と緑の杜公園 | |
| | ④駿河平スポーツ広場 | ⑤駿河平自然公園 | ⑥駿河平児童公園 | |
| | ⑦元長窪広場 | ⑧上長窪コミュニティ広場 | ⑨上長窪広場 | |
| | ⑩新福地公園 | ⑪南一色広場 | ⑫宮脇公園 | |
| | ⑬城山神社公園 | ⑭納米里広場 | ⑮納米里公園 | |
| | ⑯桜堤北公園 | ⑰桜堤公園 | ⑱上土狩広場 | |
| | ⑲惣ヶ原公園 | ⑳中土狩第二広場 | ㉑いずみ公園 | |
| | ㉒中土狩日吉神社公園 | ㉓中土狩広場 | ㉔駅前公園 | |
| | ㉕よろいがふち公園 | ㉖尾尻公園 | ㉗池田西児童公園 | |
| | ㉘池田東児童公園 | ㉙鮎壺公園 | ㉚東村公園 | |
| | ㉛御嶽堂公園 | ㉜杉原公園 | ㉝鮎壺児童公園 | |
| | ㉞本宿公園 | ㉟本宿南児童公園 | ㊱本宿にここ公園 | |
| | ゴルフ場 | ①富士エースゴルフ倶楽部 | ②三島ゴルフ倶楽部 | |





■主な健康・運動資源



4) 行事・四季を感じる景観

町に根付く行事・イベントや、四季の変化を楽しめる景観が充実しています。

(1) 行事

エリアごとに特徴ある行事やイベントが実施されています。

下土狩駅周辺や城山神社周辺では、町民や団体の協力のもとイベントや祭事が継続して実施されており、町に文化と交流を生み出し、活気をもたらしています。

城山神社周辺では町の特産品や長泉ブランド認定品が出品されるイベント等があり、対外的に町の魅力をアピールできる機会がもたらされています。

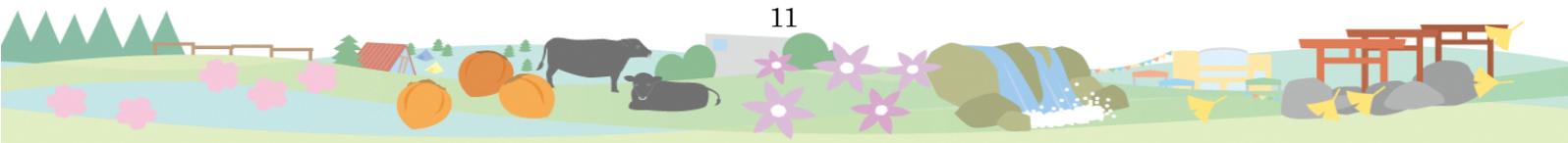
愛鷹山麓では、豊かな自然を活かし、四季を感じるができるイベントが開催されています。

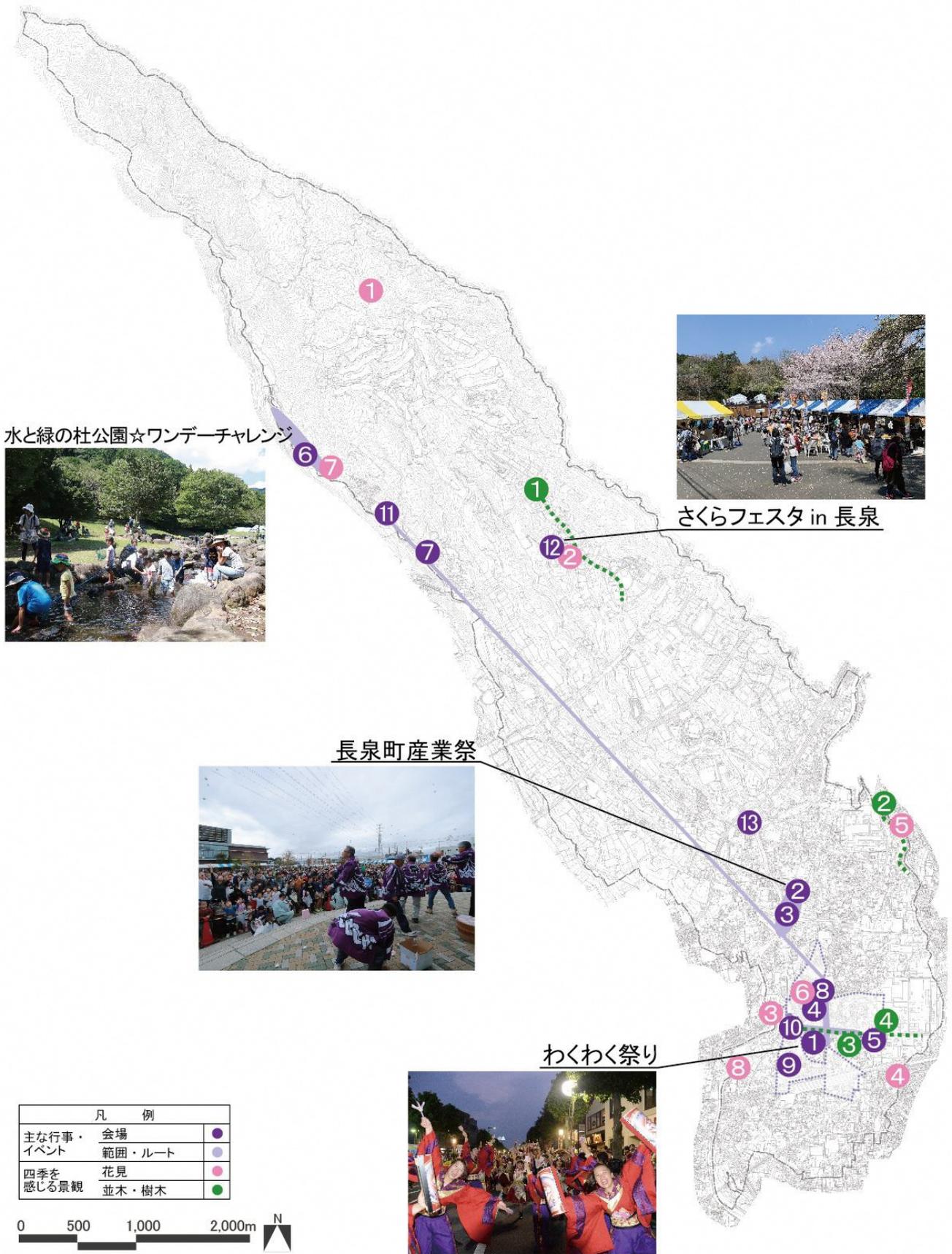
(2) 四季を感じる景観

イチヨウ並木や桜並木のほか、花見に適した公園や遊歩道があり、季節の変化と共に町の魅力を再発見することができます。「伊豆の道風景 30 選」に指定されているイチヨウ並木や県指定の天然記念物に指定されている樹木もあり、見応えある景観を形成しています。

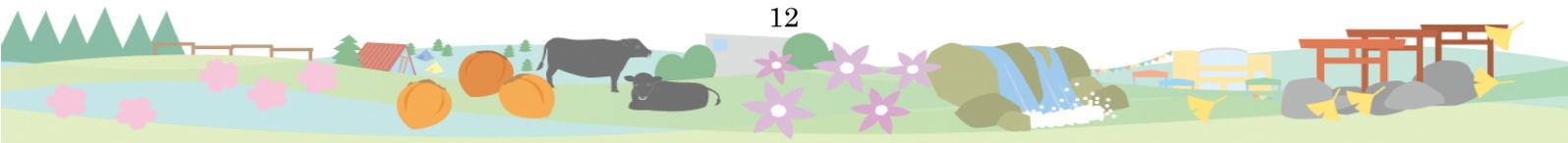
■行事、四季を感じる景観

| 分類 | 図 No./名称 | | | | |
|-----------|-------------|--------------------|-------------|------------|----------|
| 主な行事・イベント | ①長泉わくわく祭り | ②長泉町産業祭 | | | |
| | ③福祉健康まつり | ④割狐塚稻荷神社大祭 | | | |
| | ⑤八幡神社の祭り | ⑥水と緑の杜公園☆ワンデーチャレンジ | | | |
| | ⑦柿狩り | ⑧豆まきと昔の遊び | | | |
| | ⑨ぶらとがり | ⑩とがり停車場お気楽市 | | | |
| | ⑪元旦駅伝競走 | ⑫さくらフェスタ in 長泉 | | | |
| | ⑬長久保城出陣武者行列 | | | | |
| | 四季を感じる景観 | ①長泉町森林公園 | ②駿河平自然公園 | ③鮎壺公園 | |
| | | ④御嶽堂公園 | ⑤桜堤 | ⑥割狐塚稻荷神社 | |
| | | ⑦桃沢野外活動センター | ⑧本宿公園 | | |
| | | 並木 | ①駿河平のイチヨウ並木 | ②桜堤遊歩道 | |
| | | | 樹木 | ③下土狩の大イチヨウ | ④大いちょう通り |





■行事・四季を感じる景観



5) 特産品

あしたか牛や四ッ溝柿、白ネギや大和芋等の農畜産物や、クレマチス等の植物といった、幅広い特産品があるほか、長泉ブランドとして認定されている、地域資源を活用した農畜産物や食品、製品等があります。また、本町は豊富な地下水に恵まれており、水道水には、富士山や愛鷹山に降った雨水や雪解け水が地下水となったものを浄水して使用しています。

■長泉町を代表する「特産品」一覧

▼四ッ溝柿

原産は愛鷹山麓



▼白ネギ

収穫後も品質が落ちにくい



▼あしたか牛

愛鷹山麓で育った肉牛



▼大和芋

山芋を品種改良して作った
長泉町の特産品



▼クレマチス

長泉町産苗木の全国シェアは
日本一の60%



▼長泉ブランド認定品一覧（長泉町商工会ホームページ）

「長泉らしさ」を有する地域資源を活用した魅力ある農畜産物等が認定されている

長泉ブランド認定品

長泉ブランドとは
「長泉らしさ」を有する地域資源を活用した魅力ある農畜産物、食品、加工品等、長泉ブランドとして認定し、町内外に広く情報発信することにより、長泉町の知名度の向上を図るとともに、産地振興及び地域の活性化に資することを目的として今年度初めて認定がおこなわれたものです。

長泉ブランド認定品ロゴマークへの取り扱い
長泉町がご当地特産品、認定品への愛称・愛称をハートのロゴマークで発信しました。また、商品やサービスに関するお客様の取り扱いが決められています。

長泉ブランド認定品のご紹介

令和2年度認定品

1. 柿の種

町内購入先：長泉町産物センター（長泉町産物センター）
長泉町下野3-1-1
TEL: 055-986-1852 FAX: 055-986-1560
営業時間 8:00~17:00
定休日 土曜・日曜・祝日
ホームページはこちら。

長泉お好み焼き

町内購入先：長泉町産物センター
ブルーランジェリー・サザン
長泉町下野2-2
TEL: 050-1221-2251 FAX: 050-1221-2257
営業時間 10:00~17:00
定休日 日曜・月曜・火曜・水曜・木曜
ホームページはこちら。

令和元年度認定品

1. 平野農園の完熟ブルーベリー

長泉町の完熟な産地で30品種のブルーベリーを栽培しています。甘みあふるだけ引き出す方法で栽培した、大粒で濃厚な完熟のブルーベリーをご用意ください。

町内購入先：長泉町産物センター

平均産額
長泉町元産額2413.2
TEL: 050-964-5255 FAX: 055-921-1418
定休日 不定休
ホームページはこちら。

2. 長泉町焼きたまご餅

長い串の中に、濃い甘みがある「長泉町産焼きたまご餅」を使用したいり作り。一口一口で食べられるサイズです。ぜひお試しください。おまけの梅も差し込みます。

町内購入先：長泉町産物センター

(有) 長泉町産物センター
長泉町下野442-9
TEL: 055-986-3688 FAX: 055-986-2612
営業時間 平日 11:00~14:00 16:00~22:00
土日祝 11:00~22:00
定休日 不定休
ホームページはこちら。

3. あしたか牛のローストビーフ

厳選したあしたか牛を使用したローストビーフです。自家製ソースとニンニク、ハーブのバランスを考え、肉の旨味と食感の両方を堪能いただけます。

町内購入先：長泉町産物センター

BARA GATE
長泉町下野304-2
TEL: 055-994-9660 FAX: 055-994-9660
営業時間 11:00~21:00 定休日 火曜
ホームページはこちら。

4. 本郷芋焼酎「いもむとこね」

長泉町で育てられているいもむとこねは300年歴史があります。ゆっくりと熟成された「いもむとこね」はまろやかで、くすまり、まろやかな味わい伊勢しるべ本郷芋焼酎です。

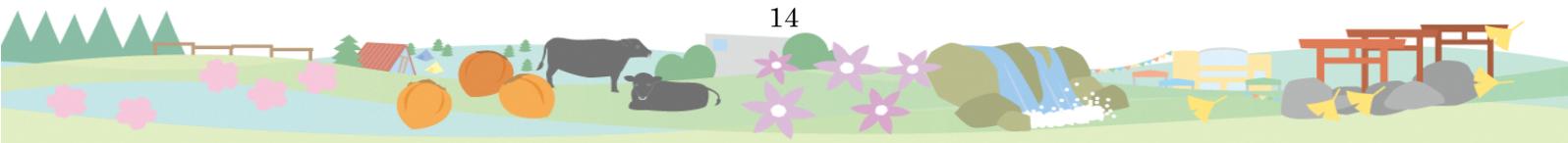
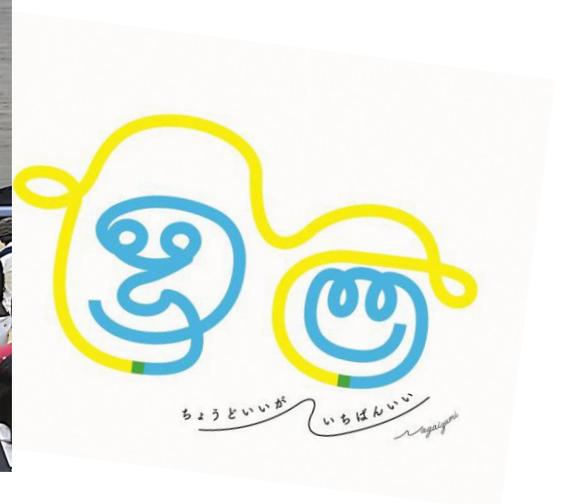
町内購入先：長泉町産物センター（長泉町産物センター）
長泉町下野317-2 TEL: 055-986-1333
下野本店 長泉町下野313-2 TEL: 055-986-4472
長泉町店 長泉町下野2050 TEL: 055-986-2093
イベント店 長泉町下野317-2 TEL: 055-986-1338

6) 人の魅力

(1) 町民のあたたかさ

子育て中の親へのサポートや、子育て団体やプレイグループ等、地域で子どもを見守り育てる取組が充実しており、町民も一体となり子どもにやさしい町を築いています。町民のあたたかさゆえに、日常生活の中で人と人とのつながりが大切に育まれてきました。また、住民意識調査の回答率は59.4%と、町の取組に対する町民の関心が高く、調査結果でも町に良いイメージをもつ町民は非常に多くなっています。

町民のあたたかさや、協力し、町をより良くする前向きな気持ちは町の魅力の一つです。



3 主な関連団体の取組

1) 県・広域の団体

(1) 公益社団法人 静岡県観光協会

県内の観光振興に向けた観光キャンペーンや魅力等に関する情報発信を行っています。

【最近の動向】

- ・静岡県民を対象として、インターネット宿泊予約サイトを活用した宿泊クーポンの配布
- ・旅行商品の企画開発や販売促進を行う団体等への支援を目的とした補助金制度を実施

(2) 静岡ツーリズムビューロー(T S J)

静岡県全域を対象とした地域連携DMO²で、インバウンドを軸としたマーケティングや、マーケティング戦略の発信等に取り組んでいます。また、ウェブサイトや各種 SNS を通じて静岡の観光情報を発信しているほか、海外からのメディア対応を行い、地域資源や魅力を効果的に伝えることで、世界の旅行者から選ばれる観光地域づくりを推進しています。

(3) 伊豆半島ジオパーク推進協議会(令和4年4月1日より一般社団法人美しい伊豆創造センター)

伊豆半島ジオパークに関連する7市8町および関連団体、交通事業者等の民間団体により構成されています。ジオガイドの育成や広報のほか、イベント等の活動を通じて、地域住民や訪問者に対するジオパークの情報提供や教育活動等に取り組んでいます。

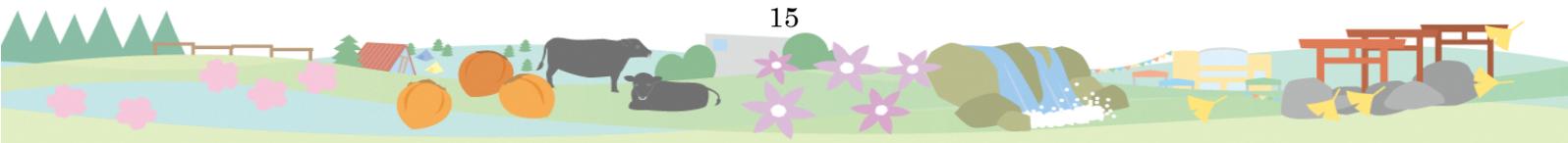
(4) 伊豆半島ジオガイド協会

伊豆半島ジオパーク推進協議会が実施するジオガイド養成講座を修了し、認定試験に合格した認定ジオガイドが、国内外の個人・団体に向けたジオサイトを巡るツアーの主催並びに情報提供を行っています。

(5) 静岡県東部地域コンベンションビューロー

国内外の各種コンベンション(大会・学会・研修会・講演会・スポーツ競技大会)を積極的に静岡県東部地域へ誘致し、開催をサポートしています。

² DMO(観光地域づくり法人) 地域の関係者と連携して、観光地域づくりの効果的な実現に向けた戦略づくり等を行う法人。



2) 町内の団体

(1) ながいずみ観光交流協会

町内の観光案内や、長泉ビジターセンターにて、ジオパークの紹介やジオサイトの案内をしています。また、各種イベントや地域の自然・歴史を伝えるツアーの実施のほかに、ホームページや各種 SNS を通じて地域資源やイベントの情報発信にも取り組んでいます。

【業務内容】

- ・各種イベント、ツアー等の実施
 - ・イベントレポート作成
 - ・ジオパークのPR
 - ・ビジターセンターでの案内
 - ・クチコミガイドの発行
- 等

(2) 長泉町商工会

小規模事業者の経営改善に向けた相談・指導をする「経営改善普及事業」のほか、イベント支援や地域の農畜産物や食品・製品を「長泉ブランド」として認定し、PR 等に取り組む「地域振興事業」を行っています。

【業務内容】

- ・各種イベントの支援
 - ・長泉ブランド認定品のPR
- 等

(3) NPO法人 長泉町スポーツ協会

スポーツ大会の開催やスポーツに関する広報等を通じて、青少年の健全育成や生涯学習での仲間づくり、健康生きがいを目指してスポーツ振興を図っています。

【業務内容】

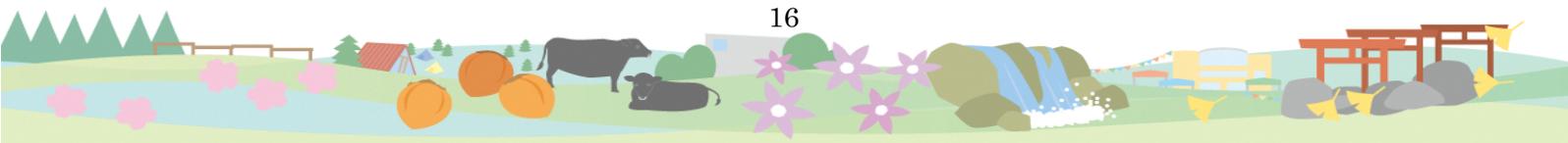
- ・スポーツに関する大会、講習会等の開催
 - ・スポーツに関する功労者等の表彰並びに広報活動事業
 - ・スポーツ施設の管理運営事業
 - ・青少年健全育成のための少年団支援事業並びにイベント事業
 - ・町民の健康生きがいを考えたイベント事業
- 等

(4) 長泉町国際交流協会

「世界に開かれた魅力あるまちづくり」に寄与することを目的とし、国際交流のほか、教育、文化、スポーツ、観光等を通じて、町と姉妹都市との交流を深めるための活動を行っています。

【活動内容】

- ・各種イベントや語学教室
 - ・語学研修支援事業（学生による姉妹都市への訪問・滞在）
 - ・協会広報誌の発行
- 等



3) 町民団体

下記の団体をはじめ、多くの町民団体により、多分野での活動が活発に行われています。

(1) 長泉花いっぱい倶楽部

県立静岡がんセンターへの通りの花壇に花を植え、水やりや草取り等の管理を行っているボランティア団体です。

(2) 土狩にぎわいづくりの会（とがり停車場お気楽市実行委員会）

下土狩駅周辺で実施されている「とがり停車場お気楽市」を主催している実行委員会です。

(3) 長泉ロータリークラブ

米山梅吉別邸の保存や米山記念館建設に向けた運動を行いました。財団法人を設立し、米山梅吉記念館の運営を担っています。

(4) 子育て支援団体

本町や近隣で子育てをする全ての親を対象に、交流できる場所づくりとイベント等を実施している団体や、幼稚園等で公演を行う団体等、子育て支援を通じた交流促進のために活動している子育て支援団体が多数あります。

4) 指定管理者

指定管理者により、施設の運営及び維持管理、利用者サービス等が行われています。

(1) 長泉町健康づくりセンター ウェルピアながいずみ

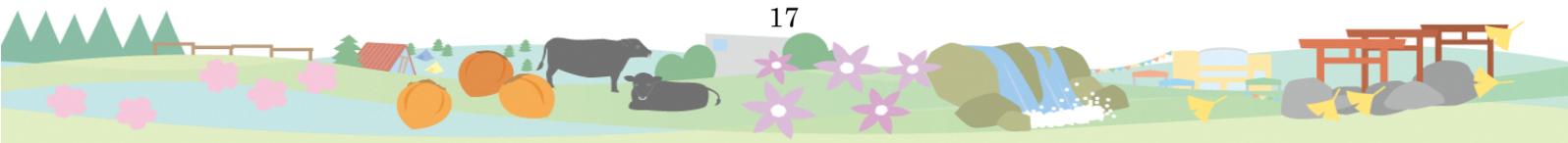
小学生向けのスポーツプログラムやダンス、エアロビクス等、多世代に向けたレッスンを開講しています。

(2) 長泉町文化センター ベルフォーレ

文化振興に関する企画、音楽に関するレッスンやコンサート、発表会等の開催や、アートに関する作品展等を行っています。

(3) 桃沢野外活動センター・キャンプ場・グラウンド・工芸村

キャンプ場並びにバーベキュー場の運営、定期的なイベントやワークショップを開催しているほか、工芸村での体験教室等を行っています。



2) 観光交流に係わる事業の強み・弱み

平成 28 (2016) 年度から令和 2 (2020) 年度までの事業実施状況からみる、強み・弱みは以下の通りです。

(1) 笑顔の種を、みつける・つくる

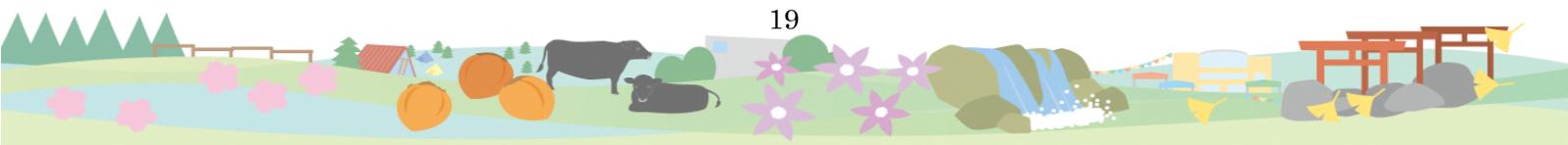
- ・特産品や公園、キャンプ場等、町の食や施設を活かしたイベントを毎年継続して行っているほか、ジオパーク等の町の魅力に関する講座や、気軽に参加できるワークショップ等も頻繁に開催しています。関連団体や事業者、行政等の各主体が、豊富な資源を活かして、積極的な魅力発掘や魅力創出に取り組みました。
- ・これらの取組の魅力を磨き、より長泉町らしさを感じられる取組へと発展させていけるように、関連団体や事業者、行政等の各主体の連携や情報共有等の強化が求められます。

(2) 笑顔を、そだてる・ひろげる

- ・大規模なイベントや各種スポーツイベント、町民団体による定期イベント等を毎年継続して開催しており、町の施設を活用し、来訪者や町民の交流機会を創出しています。各イベントや大会での効果的な魅力発信や、より長泉町らしい取組へと磨くために、分野を横断した連携を進めることが求められます。
- ・観光ガイドマップや観光交流だよりの作製等、町の魅力 PR に継続的に取り組んでいますが、SNS 等の新たな手法を活用した情報発信を強化していくことも求められます。
- ・団体に所属していない町民や、新たに町に越してきた町民の交流機会の創出、世代間交流の促進が求められます。

(3) 未来の笑顔へ、つなぐ・つたえる

- ・ジオパーク講座やガイド養成講座、子育てママライターによるタウンセールス事業等を継続して実施しており、多面的な町の魅力発信や魅力の継承に取り組んでいます。
- ・ガイド養成講座や各種事業で養った知識や経験を伝達する機会等を設け、町民による観光交流の実践に向けて、現在の取組をさらに発展させていくことが求められます。
- ・日常的な交流やイベントへの参加機会を増やし、郷土愛の醸成やコミュニティ強化をさらに図ることが求められます。



5 観光交流ビジョン検討ワークショップの概要

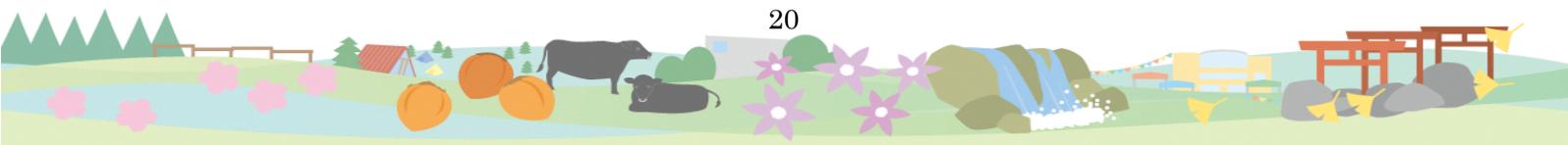
観光交流の促進に取り組む団体や施設運営事業者のほか、NPO 法人や町民団体、学生、町職員等、多様な主体によるワークショップを3回にわたって開催しました。

1) 第1回観光交流ビジョン検討ワークショップ

令和3年11月15日に、「長泉町の観光交流の強み・課題」について、24名が3グループにわかれ意見交換を行いました。

■第1回観光交流ビジョン検討ワークショップの意見

| 分類 | 強み | 課題 |
|-----------|---|---|
| 観光施策全般 | — | <ul style="list-style-type: none"> 観光客を呼び込めていない 長泉「ならでは」が少ない PRが十分ではない |
| 自然資源 | <ul style="list-style-type: none"> 北部の豊かな自然やジオサイト 知名度の高いキャンプ場 | <ul style="list-style-type: none"> ジオ・自然資源の整備 |
| 文化芸術・歴史資源 | <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術、歴史の充実 美術館が集まっている 地域に根付いている行事や祭り | <ul style="list-style-type: none"> 歴史・文化資源の活用不足 |
| その他資源 | <ul style="list-style-type: none"> 魅力がある資源が多い (運動・健康、観光交流協会等) | <ul style="list-style-type: none"> 地域資源が限られている 資源が分散している 宿泊施設が少ない |
| 特産品 | <ul style="list-style-type: none"> 美味しく、豊富な特産品 | <ul style="list-style-type: none"> 特産品の購入場所や食べられる場所が少ない |
| イベント | <ul style="list-style-type: none"> イベントが多い 町民が積極的に参加している 情報発信がされている | <ul style="list-style-type: none"> 情報発信が不十分 交流やつながりを生むイベントが少ない イベントの連携不足 |
| 交流の機会 | <ul style="list-style-type: none"> 観光に活かせる町民の交流 | <ul style="list-style-type: none"> 交流の場がない |
| 交通利便性 | <ul style="list-style-type: none"> 広域交通網の充実 観光の出発点としてのポテンシャル サイクルツーリズムの可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 町内の周遊が難しい 地域公共交通が観光交流に向いていない |
| 立地 | <ul style="list-style-type: none"> 関東圏・近隣市町へのアクセス性の高さ 周辺市町と連携しやすい | <ul style="list-style-type: none"> 近隣市町との協力体制が不十分 |
| 町民町のイメージ | <ul style="list-style-type: none"> 町のイメージが良い 町民の“人”が良い | <ul style="list-style-type: none"> 観光交流に対する町民のモチベーションが高くない |
| 子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> 「子育てのまち」として高評価 子どもにやさしいまち | <ul style="list-style-type: none"> 子育て設備は不十分 |

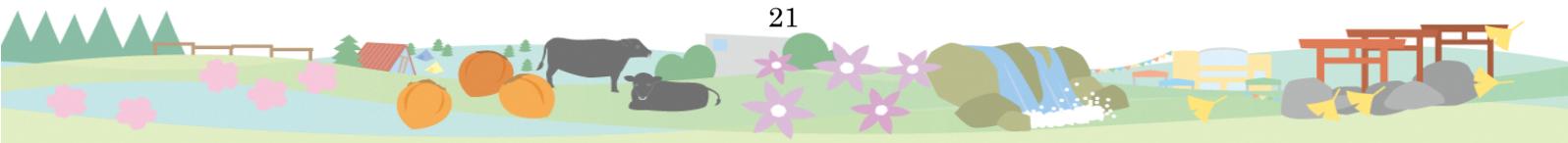


2) 第2回観光交流ビジョン検討ワークショップ

令和3年12月3日に、「長泉町が今後取り組むべき観光交流の施策」について、24名が3グループにわかれ意見交換を行いました。

■第2回観光交流ビジョン検討ワークショップの意見

| 分類 | 具体的な案 |
|-------------------|---|
| 自然資源を活かしたイベントの開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・四季の植物や農産物を楽しむ ・特産品のクレマチスを活かす ・農業体験等、農業を活かす |
| アートを活かした交流機会の創出 | <ul style="list-style-type: none"> ・アートを活かしたとワーケーション ・音楽関連のイベントで交流 ・ストリートピアノ |
| 特産品を活かした交流機会の創出 | <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等への特産品の出店強化 ・特産品を通じた町民交流イベント ・定期市 ・特産品の加工ワークショップや料理教室 ・野菜の露店販売マップの作成 |
| 特産品の活用推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・特産品の加工商品開発 ・長泉認定ブランド品を購入できるアンテナショップ |
| 宿泊を必要とするイベントの実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・長時間行うスポーツイベントや祭り等の実施 |
| イベント開催に関するその他意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々なイベントの同時開催 ・イベント参加対象者を広げる ・団体共催のイベント |
| 住みよい町を目指した交流機会の創出 | <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートセンター事業の会員交流 ・親どうしの交流 ・世代間交流 ・学生のイベント ・郷土愛を育むイベント |
| 情報発信・知名度向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・周遊時間の目安がわかるマップ作製 ・フィルムコミッションや小説の聖地巡礼 ・情報発信の人材育成 ・イメージ向上に向けたキャッチコピーづくり |
| 交通 | <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅をつくる ・施設巡回バスやシェアサイクルを利用したツアー |
| 街並み・整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・緑化推進や無電柱化による街並みの向上 ・下土狩駅や三島駅に案内板の設置 |
| 推進体制 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設間の連携促進 |

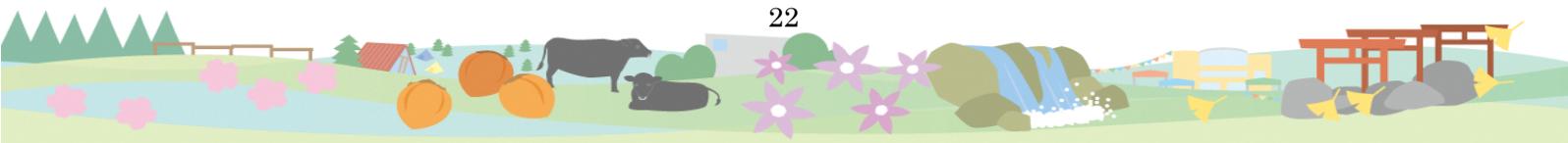


3) 第3回観光交流ビジョン検討ワークショップ

令和4年1月13日に、「長泉町の観光交流の施策（素案）への追加事項」について、19名が3グループにわかれ意見交換を行いました。

■第3回観光交流ビジョン検討ワークショップの意見

| 分類 | 意見・追加事項 |
|--------|--|
| 意義・考え方 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 施策の実行主体を明記するかについては検討が必要である ・ 「友人や知人を呼びたい町」と書き、「住み続けたいまち」の内容を充実させる ・ 皆の自発的取組の背中を押す計画であることを明記してはどうか ・ 「観光客を増やす」ことも検討してほしい |
| 歴史・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校での歴史・文化の教育や出前講座の実施 ・ ARや位置情報を利用した伝達 ・ 御殿場線の歴史等も活用 |
| 食 | <ul style="list-style-type: none"> ・ あしたか牛の追記 ・ 特産品関連のツアー等はぜひやってほしい |
| スポーツ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 全世代ができることを記載する ・ 大規模な大会等は実施が難しい |
| 交通 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通網の整備と併せて魅力ある地域づくりの推進が必要 ・ MaaS等の積極的推進 |
| 施策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ SNSを通じた情報発信の強化 ・ メディアを通じた情報発信 ・ 町外へのPR ・ 授業の一環としてPRコンテンツの作成 |
| 連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 施策ごとの連携 ・ 伊豆半島との広域連携 ・ 施設や団体を結ぶ仕組み ・ 町民と施設が連携したイベントの実施 ・ 未来人との連携 ・ 未来人ワークショップを活用した施策検討 ・ 学生、未来人主体のイベント実施 ・ ワークショップ等を活用した施策検討の機会創出 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ対策について追記 |



第2章 観光交流の課題

観光交流動向やワークショップでの意見結果より、以下の項目が課題として挙げられます。

1 「長泉町ならではの観光交流」のあり方・方針の提示

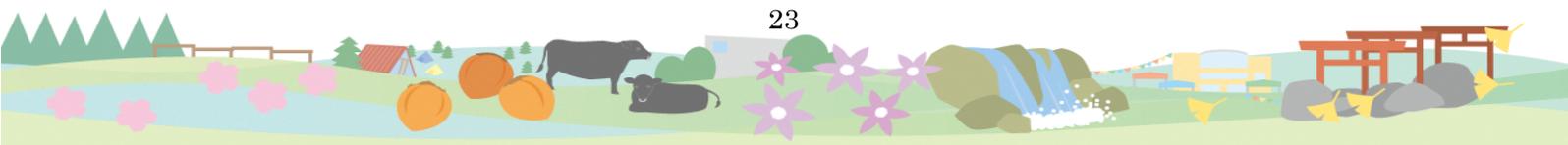
- ・本町の市街化区域内は主に住宅用地と工業用地として利用されており、工業等を主軸として産業が成立しています。そのため、観光交流促進に向けた一体的な取組は十分とはいえない状況です。
- ・各施設や団体ごとに個別の取組は行われていますが、「長泉町ならではの観光交流のあり方」が共有されておらず、関連団体が協働した一体的な取組が進められていません。
- ・本ビジョンにおいては、地域資源の効果的な活用方法や楽しみ方、町の良好なコミュニティ形成に資する交流機会の創出等、本町の魅力を引き出し、磨いていくことができる「長泉町ならではの観光交流」のあり方や明瞭な方針を掲げることが必要です。

2 自然資源の有効活用

- ・鮎壺の滝や割狐塚稲荷神社等の市街地で手軽に見ることができるジオサイトや、北部の愛鷹山麓の豊かな自然環境や美しい眺望景観等、多様な自然資源に恵まれていることに加え、水と緑の杜公園や桃沢キャンプ場等、知名度の高いレクリエーション施設も充実しています。
- ・自然資源のうち年間入込客数が1,000人を超えている施設は、鮎壺の滝、桃沢キャンプ場と桃沢野外活動センターキャンプサイトのみと、自然資源の魅力を十分に活かしきれていない状況です。
- ・著名な自然資源を拠点としたガイドツアー等の実施による周辺の資源やジオサイト等への周遊機会創出等、自然資源を一体的に活用し、魅力を効果的に伝えていくことが求められます。
- ・併せて、周辺の景観や案内サインの整備、自然資源の総合的な案内ツールの導入検討等も求められます。

3 文化芸術・歴史資源を活用した地域ブランディング

- ・クレマチスの丘周辺やベルフォーレ等の文化芸術施設や、割狐塚稲荷神社や鎧ヶ淵等のジオの観点から地域の歴史を学べる歴史資源が多数あります。
- ・しかし、令和2年度住民意識調査では、町民の「文化芸術活動の普及促進」に関する施策について、「満足（満足・ほぼ満足）」の回答者の割合は24.8%に留まりました。
- ・文化芸術活動機会を活用した交流・学習機会の創出、または町の文化芸術に関するPR等の普及活動を一体的に進めていくことは、「文化・芸術が豊かな町」としての地域ブランディングにつながります。文化・芸術資源は観光資源としての訴求力があるため、交流・学習機会の創出や、イベント等の実施により、より付加価値を高めることができます。



4 各種地域資源の魅力向上に向けた取組

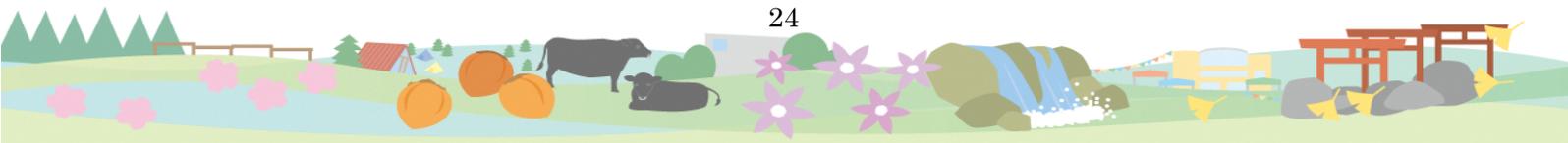
- ・長泉町ブランド認定品等、地域特有のグルメは、特筆すべきものが多いものの、PR 不足や購入の場の不足等、観光交流に十分に活かされていません。これらは、観光交流のきっかけづくりとして有効であることから、各種イベントや観光施設と連携した PR 等が求められます。
- ・都市公園や運動施設等、運動や健康増進の環境が整っていることは本町の強みです。気軽に運動を楽しめる環境づくりや、スポーツイベントを活用した周辺市町との交流等により、町の施設や環境を積極的に活用した交流機会の創出や広域からの誘客へとつながります。

5 町内の回遊性向上に向けた交通手段の導入検討

- ・本町への交通手段は、東海道新幹線（三島駅）、JR 御殿場線（下土狩駅、長泉なめり駅）、東名高速道路（沼津 IC）、新東名高速道路（長泉沼津 IC）、国道 246 号等があり、広域交通網に恵まれています。
- ・町内の公共交通は、多くが居住者の生活利便性を高めることを目的としています。観光交流客にとっての公共交通利便性はそう高くはなく、本町の地域資源や施設が南北の広域に渡っていることを鑑みると、自動車があれば円滑な周遊が難しい状況です。
- ・特に北部の自然資源は、公共交通でのアクセスに課題があるため、適切な交通手段の導入等で対応していく必要があります。
- ・市街地はシェアサイクルが充実していることから、シェアサイクル等の気軽な移動手段を活用し、観光資源を周遊する仕組みの構築等が求められます。

6 滞在時間の延長を目指した地域資源の活用

- ・観光交流客数における宿泊客数の割合が低いことから、町内での滞在時間が短いことが推測できます。滞在時間が長いほど、町内の魅力発掘機会の増加や地域経済活性化へとつながるため、滞在時間の延長は課題として挙げられます。
- ・鮎壺の滝やクレマチスの丘等、著名な観光レクリエーション施設や地域資源を結ぶ周遊ルートの設定、あるいは農業や産業の学習・体験機会やイベントを活用した交流機会等により、長時間の滞在で本町の魅力を味わう機会創出を検討することが求められます。
- ・民泊や空家の利活用と、文化や産業の体験等を併せて推進することにより、町内に長期間滞在し、町への理解を深めながら交流促進につなげることができます。



7 交流機会の創出によるコミュニティ強化やシビックプライドの醸成

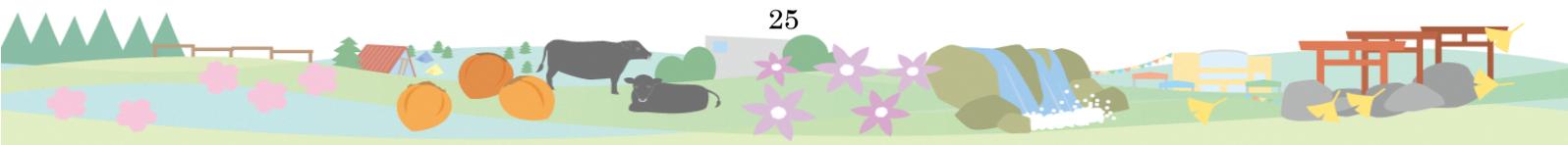
- ・住民意識調査の結果から、町民自身が町の魅力を理解しきれていないことがわかります。町民自身が周囲に知らせたくなるような町の魅力を再発見し、誇りを持つことで、町全体として観光交流に対する前向きな取組を進めることができます。来訪者と町民の双方が地域への愛着をもてるように、町民も巻き込んだ取組を進めることが求められます。
- ・町内では、世代間交流や、新たに町に住み始めた町民への交流の機会が十分に確保されておらず、コミュニティ活性化や情報共有を促進できていないことが課題です。
- ・町民の活動に関する情報共有や連携の強化、地域活性化に向けた取組のハードルを下げるなど、町民が観光交流に参加しやすい仕組みづくりにより、町民主導で観光交流を盛り上げていく機運の高まりが期待できます。
- ・観光資源の魅力向上にソフト面の取組を合わせることで、交流の促進や継続につながる可能性が高まります。

8 移住・定住につなげる観光交流の推進

- ・本町では、若者や大学生の定住支援にも力を入れており、また、こども交流センター「パルながいずみ」や、「子育てコンシェルジュ」を通じた子育て相談や親どうしの交流機会創出等の子育て支援等、移住者にとって魅力的な取組や施策が積極的に行われています。
- ・町内でのイベントは町民を対象としたものが多く、町外からの来訪を促すようなイベントや、町の魅力を知らせ、移住・定住につなげるようなイベントがないことは課題として挙げられます。
- ・本町の施策や人の良さ、余裕のある風土等の魅力を、実際に町民から町外へと伝えていく取組の推進や、町民が観光交流に参画するためのワークショップ開催等に積極的に取り組むことが求められます。

9 関連団体等の連携による一体的な観光交流の推進

- ・周遊モデルコースや町の資源がすぐわかるマップ、SNS 等を活用した効果的な情報発信の取組が不足しています。
- ・団体ごとの取組が個別に行われており、町の観光交流推進体制が構築されていない状況です。
- ・自然資源や文化芸術・歴史資源、健康・運動・スポーツ資源等は、分野横断的に連携した観光交流を推進していくことで、相乗効果を発揮するため、各施設運営者が連携して取組を進めていく必要があります。
- ・令和2（2020）年度に合意したスーパーテレワークコンソーシアム、令和3（2021）年度に発足された富士山南東スマートフロンティア推進協議会等、近隣市町や企業との連携体制を活用し、周辺市町の観光の強みを活かしながら、本町の観光交流の裾野を広げられるような取組を進める必要があります。



第3章 長泉町観光交流ビジョン

1 観光交流に関する基本的考え方

1) 長泉町における観光交流の意義

本町は、近接する東海道新幹線三島駅や新東名高速道路長泉沼津 IC 等の立地による交通利便性の高さを基盤として、豊富な地下水等の資源を活かした産業集積と、自然を肌で感じられる快適な住環境を魅力に、豊かで活力のあるまちとして発展してきました。

本町が全国でも指折りの豊かな財政力があり、人々に選ばれ続けるまちであることは様々な指標でも示されています。

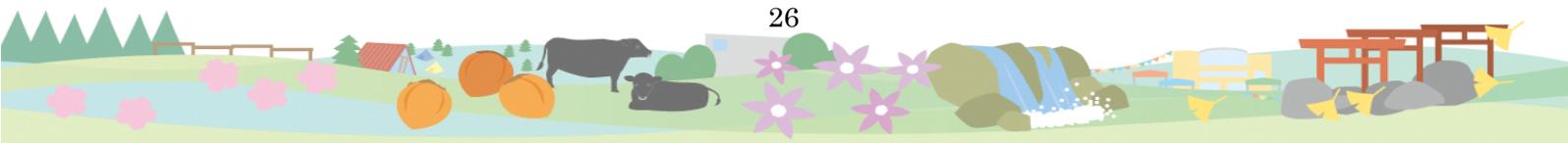
一方、観光交流においては、観光交流客数や宿泊客数は多くはなく、本町の魅力を活かされていないという状況です。

しかし、「長泉町ならではの」観光交流は、「ただ観光客を増やすための観光施策」ではありません。

新たに住人となる「移住者」、町に定住する「町民」、そしてたくさん子どもたち等、誰もがこの町の魅力への誇りを育み、豊かな交流を深めながら、良好なコミュニティを形成することによって、知人や友人に自ら伝え、招きたくなるような魅力的なまち、住み続けたいまちへと磨き上げることが、本町が目指す「長泉町ならではの観光交流」です。

<ポイント>

- 地域資源や固有の取組の効果的な活用
交流機会の拡大によるにぎわいや新たな魅力の創出
- ↓
- 町への愛着やシビックプライドの醸成
交流を通じた良好なコミュニティの形成
- ↓
- 「住みたいまち」から「住み続けたいまち」の創造



< 長泉町ならではの観光交流のイメージ >

本町における観光交流の意義に基づくと、「長泉町ならではの観光交流」を推進するということは、次のようにイメージできます。

● 町の魅力を発掘し、楽しみ、周りの人に町の魅力を伝える

- ・町の魅力を知る機会へ進んで足を運んだり、魅力的な場所やイベント、店舗等を積極的に探すなど、隠れた魅力を掘り起こす
- ・愛鷹山等の自然や充実したアート、健康・運動施設等、町の資源や施設を楽しむ、町での思い出を話したり、SNSの投稿等で伝える

● イベントや体験を通じて、町での交流を楽しむ

- ・町民とともに地域文化を体験することや、町の人から話を聞くこと等、交流を通じて町のライフスタイルや生活文化に親しむ
- ・古くから行われてきた祭事や、町や関連団体によって運営されてきたイベント等、人が主役となる場に参加して、交流を楽しむ

● 身近な町の魅力をおすそわけする

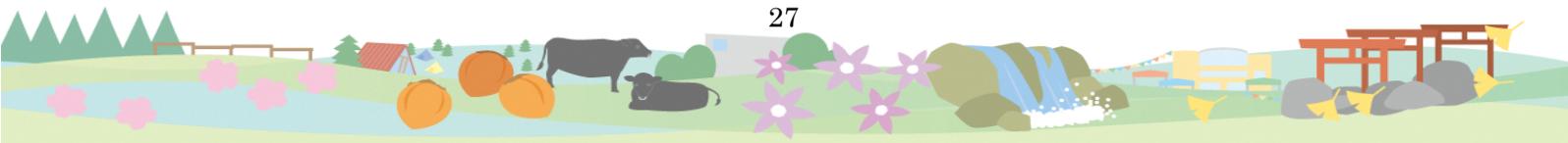
- ・日常生活の様々な場面で、町ならではのものに触れたり、体験したりすることにより、町の魅力を発見し、実感する
- ・町での体験や魅力的に感じたことを教えたり、町の特産品を勧めるなど、町で知ったことや体験したことを分かち合う

● 人と人の交流を通じてつながりを広げる

- ・町民・移住者・来訪者等が交流する機会や、世代間交流ができる場に参加して、人との交流を楽しむ
- ・交流を通じて育んだつながりやコミュニティがさらに広がるよう、周囲の人を誘い、人と人のつながりを広げていく

● 住みやすさを友人や知人に伝え、町に招く

- ・町外に住む友人や知人に、生活の様子や暮らしやすさを伝え、町のことを紹介する
- ・友人や知人を招き、町にある生活拠点や魅力あるスポットを案内していつもと違う日常を楽しんでもらいながら、暮らしやすい環境や町の良いところを広める



2 観光交流の方針

1) 観光交流の将来像

本町の観光交流の考え方及び現状、課題の整理結果を踏まえ、観光交流の将来像を次のように掲げます。

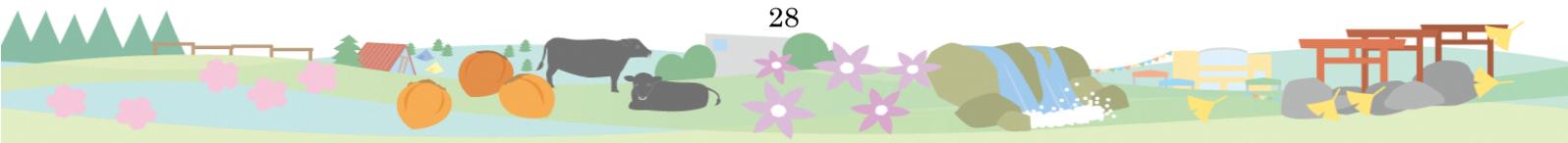
魅力を磨き、賑わい・交流あふれる

招きたくなるまち

北部の愛鷹山や豊かな自然景観、ジオサイト等の自然資源や質の高いアート、個性的な歴史、文化やイベント、長泉ブランド認定品やウエルピアながいずみ等の運動施設、既存の資源や新たに発掘した資源を、本町の立地の優位性を活かしながら、町ならではの観光交流を進めていきます。

また、町を楽しんだ来訪者や町民が、思わず周囲に伝えたいよう魅力を磨き上げ、多様な交流機会や文化体験を通じて、町への理解や愛着を深め、ひいては「町にもっと関わりたい」、「町をもっと良くしていきたい」という思いが生まれるように観光交流に取り組んでいきます。

これらの取組みを、町民・関連団体・事業者・行政等が観光交流の担い手の主体となって推進しつつ、必要な場面においては連携、協力して推進することで、町のあらゆる場所に笑顔で交流する心地よい賑わいと活気をもたらし、誰もが魅力を感じ、友人や知人を積極的に招きたくなる、住み続けたいまちを創造します。



2) 観光交流の方針

本町の観光交流の将来像を実現するために、町民、事業者、行政が取り組む施策の方針は次のとおりです。

方針1 自然を活かします

愛鷹山麓の豊かな自然や四季折々の風景、各地でみられるジオサイト等、豊富な自然資源の魅力を掘り起こし、効果的に伝えます。また、充実したレクリエーション施設の有効活用や自然資源の周遊促進等に取り組み、自然資源を通じた交流機会の創出を検討するほか、自然の保全活動等を進めます。

方針2 文化芸術・歴史に親しみます

町の歴史文化の伝達や、文化芸術施設及び工場等における学習機会により、文化芸術や歴史、町の産業をきっかけとして町に関する知識を深める取組を検討します。また、美術館やベルフォーレ等の文化芸術施設が集積した環境を活かせるよう、町全体でアートを楽しむ機会や、行事を通じた交流機会等を設けます。

方針3 食を楽しみます

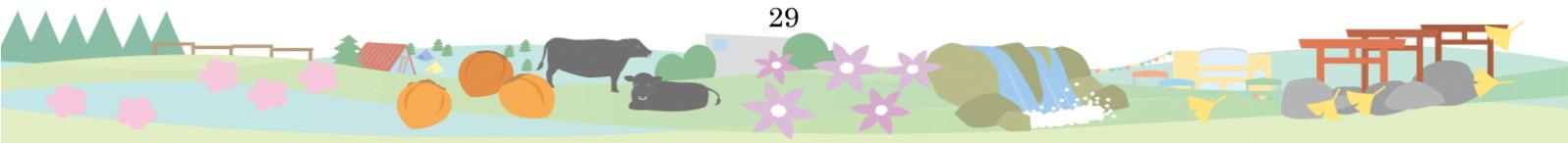
あしたか牛や四ッ溝柿、白ネギ等の豊富な特産品の商品開発等により、魅力をさらに磨く取組を進めます。また、より多くの人々が特産品を味わえるよう、販路拡大や長泉ブランド認定品のPRに加え、町の食や食文化の魅力を伝える取組を検討します。

方針4 健康・運動・スポーツを通じて町の魅力を楽しみます

充実した運動施設や健康づくりの環境を活かし、気軽な運動を通じた周遊や世代間交流を促進します。また、地域資源を存分に活用したスポーツイベントの開催や、スポーツに関する連携体制の活用促進により、町のあらゆる魅力のPR等につなげます。

方針5 身近な魅力を活かします

町民どうしのつながりや町民団体の活動、町に活気をもたらす若者や町民のあたたかさ等、身近な町の魅力を活かし、来訪者や移住者が、日常生活の何気ない機会の中で、町民の魅力や町の暮らしやすさを知ることができるように進んで交流するなど、気軽に町の魅力を味わうことができる機会創出を進めます。



方針6 交通ネットワークを活かします

交通利便性の高さを活かして広域圏からの誘客に努めると同時に、地域資源や施設へのアクセシビリティ向上に向けた巡回ルートの検討のほか、新たな交通手段の導入検討により、町内の円滑な移動を促進します。

方針7 自ら魅力を伝えます

地域資源の魅力を効果的かつ一体的に伝えるために、広報誌や各種 SNS 等、媒体ごとの特性等を的確に把握した情報発信に取り組みます。また、町民目線での情報発信や、町にルーツのある人材との連携により、効果的かつ広範囲に町の魅力を届けます。

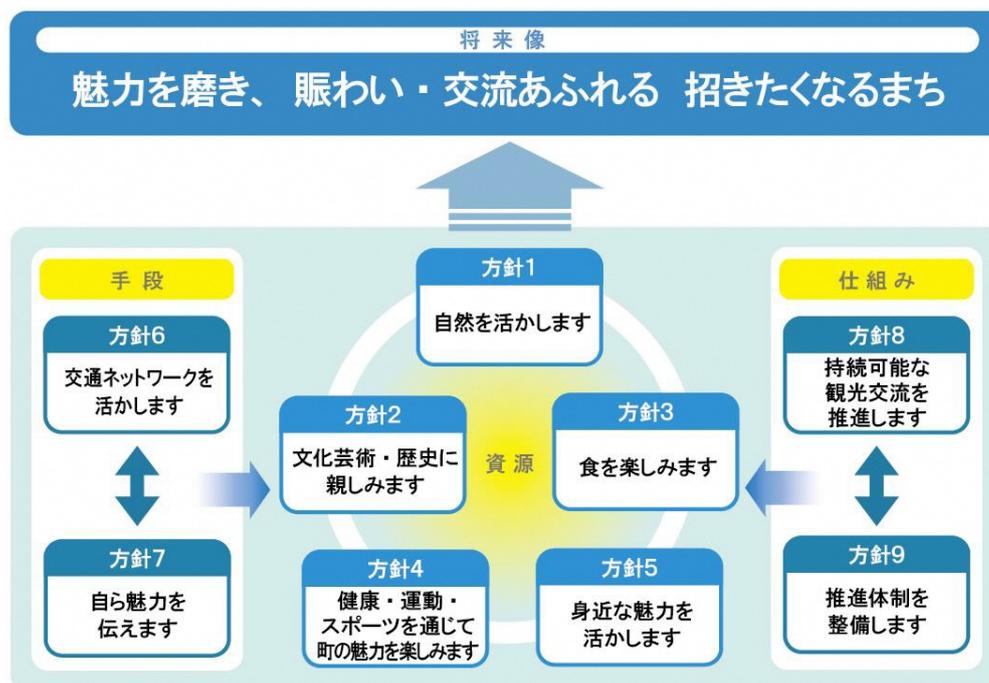
方針8 持続可能な観光交流を推進します

社会情勢等の変化へ柔軟に対応し、時勢に合った観光交流を展開します。誰もが町の魅力を味わえるよう、様々な人の立場に立った周遊機会や交流機会を創出するとともに、環境への配慮により、観光交流における持続可能性を高めます。

方針9 推進体制を整備します

効果的に観光交流を進めるために、ながいずみ観光交流協会をはじめとした関連団体や施設間のネットワーク構築や、近隣市町との連携体制強化を進め、分野横断的に施策を推進します。また、町民の積極的な参加や、新たにまちづくりや観光交流に取り組む人材や団体育成のために、学習・交流機会やワークショップを開催するなど、町全体で観光交流を推進します。

《施策の体系》





将来像

魅力を磨き、
賑わい・交流あふれる
招きたくなるまち

方針1 自然を活かします

方針2 文化芸術・歴史に親しみます

方針3 食を楽しみます

方針4 健康・運動・スポーツを通じて
町の魅力を楽しみます

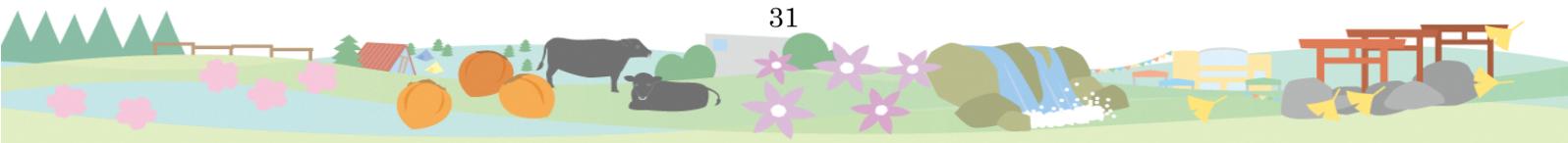
方針5 身近な魅力を活かします

方針6 交通ネットワークを活かします

方針7 自ら魅力を伝えます

方針8 持続可能な観光交流を推進します

方針9 推進体制を整備します



(1) 自然資源の魅力を磨きます

(2) 自然と親しみ、交流を生む機会づくりをします

(3) 町の自然を大切に守る活動を進めます

(1) 文化芸術・歴史の魅力を掘り起こします

(2) 文化芸術・歴史に身近に触れる機会を創出します

(3) 文化芸術・歴史を活用した交流機会を創出します

(1) 新たな味を見つけ、磨きます

(2) 特産品や地場産品を楽しめる機会を増やします

(3) 特産品をきっかけに交流機会を創出します

(1) 誰でも気軽に参加できる健康づくりの機会をつくります

(2) スポーツを通じて町の魅力を伝えます

(3) 連携体制を活かします

(1) 身近な魅力を再発見します

(2) 身近な魅力で交流機会を生み出します

(3) 若者から町の魅力をつなげます

(1) 広域交通体系を活かして広域圏から人を招きます

(2) 町内の魅力的な移動手段を充実します

(3) 新技術を活用して交通利便性を高めます

(1) 媒体の特性を活かして効果的な情報発信をします

(2) 町民目線で町の魅力を伝えます

(3) 町外に町の魅力を届けます

(1) 社会情勢や時代の変化へ柔軟に対応した観光交流を推進します

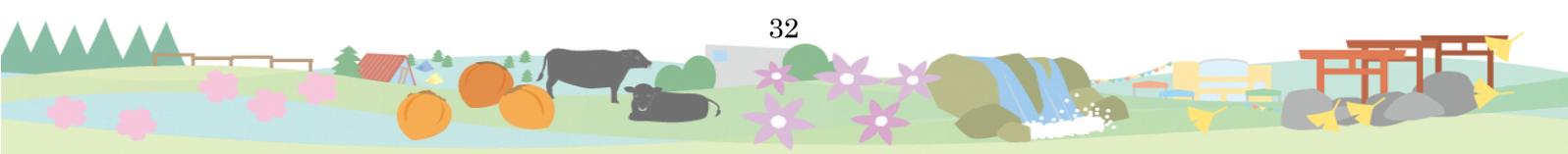
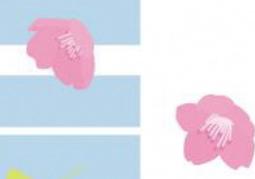
(2) 誰もが気兼ねなく来訪できる観光交流を実現します

(3) 環境にやさしい観光交流を推進します

(1) 町内の観光交流関係者のネットワークを構築します

(2) 近隣地域との連携体制を構築します

(3) 町民や町民団体の交流や連携を促進します



3) 観光交流の方針の内容

施策方針ごとの内容、施策イメージ例は次のとおりです。

方針1 自然を活かします

(1) 自然資源の魅力を磨きます

- ・ 町民や関連団体の協働のもと、町ならではの自然資源の魅力発掘事業等を検討します。
- ・ 富士山と愛鷹山への眺望や鮎壺の滝等のジオサイト等、自然の名所や良好な景観拠点をまとめ、自然の魅力を知る機会を増やし、効果的なアピールに努めます。
- ・ 自然資源は南北に広く点在していることから、総合的な案内や技術活用等により、周遊促進に向けた取組に努めます。



▲コミュニティながいずみ付近からの眺望

施策イメージ例

- ・ 地域主導による自然周遊プランの推進
- ・ 自然景観や名所の案内サインの整備
- ・ 眺望点やジオサイトの周遊ルートの設定
- ・ 眺望点の保全活動
- ・ 位置情報を利用した自然資源案内ツールの整備 等

(2) 自然と親しみ、交流を生む機会づくりをします

- ・ 眺望点やジオサイト、四季折々の植物や美しい景観等の魅力を伝えるべく、周遊機会等の充実に努めます。
- ・ 豊かな自然が広がる北部では、つるべ落としの滝等の貴重なジオサイトやイワタバコ等の珍しい植物を活かした自然学習の機会創出を検討します。
- ・ 水と緑の杜公園や桃沢キャンプ場等のレクリエーション施設では、自然に癒される交流機会を拡充します。



▲水と緑の杜公園☆ワンデーチャレンジ

施策イメージ例

- ・ 眺望点やジオサイトを巡る周遊ツアーの開催
- ・ 愛鷹山での自然鑑賞ガイドツアーの開催
- ・ 水と緑の杜公園等での自然体験プログラムの開催 等

(3) 町の自然を大切に守る活動を進めます

- ・観光交流と農業の連携により、農地の利活用推進や特産品に係わる農業体験等、農業の持続可能性を高める取組を検討します。
- ・町北部の森林、黄瀬川や桃沢川等の河川、さらに鮎壺の滝といったジオサイト等は、町の原風景といえる特有の自然景観です。町民、事業者、行政が協力して、適切な管理や清掃等、大切に守る活動に取り組みます。

施策イメージ例

- ・四ッ溝柿等の特産品収穫体験の実施
- ・遊休農地等を活用した市民農園の開設
- ・アダプトプログラム³を活用した町民参加の保全活動
- ・鮎壺の滝クリーンプロジェクトのイベント化等による拡大 等



▲鮎壺の滝清掃活動

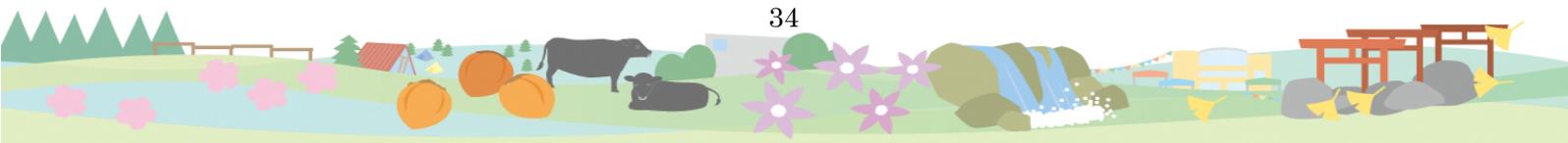


▲桜堤遊歩道



▲アダプトプログラムを活用した植栽

³ アダプトプログラム 公園等の公共施設において、地域住民による美化清掃や草刈り等の美化活動を、行政等が物品の支給等で支援するもの。



(1) 文化芸術・歴史の魅力を掘り起こします

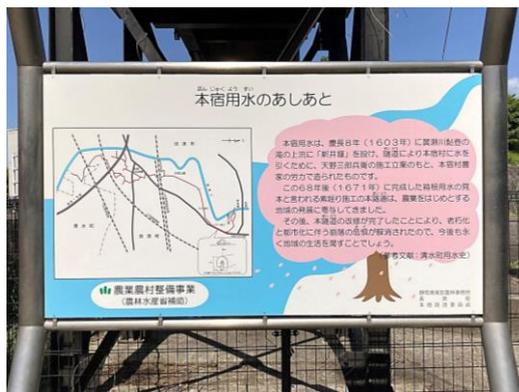
- ・町の歴史文化に関する情報をとりまとめ、町民や町外の人、あるいは教育機関と連携のもと、町の子ども達へ伝える場の創出や機会づくりに努めます。
- ・文化芸術施設が集積した環境を活かして、文化芸術や町にゆかりのある人物への学びを通じて、町の歴史等への知識を深める機会を充実します。
- ・多様な業種の工場や芸術性の高い企業資料館等を活かし、産業の成り立ちを通じて町の魅力や環境等を知る機会づくりを検討します。

施策イメージ例

- ・町やながいずみ観光交流協会による歴史文化に関する出前講座の開催
- ・歴史ガイドツアーの開催
- ・歴史資源への案内板の設置
- ・美術館等でのワークショップの開催
- ・工場や資料館等での見学ツアーや座談会の開催 等



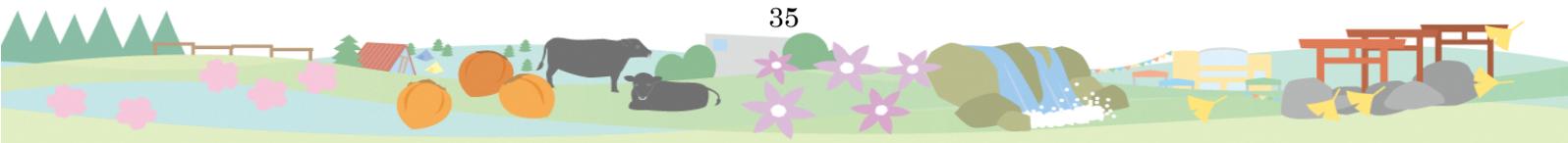
▲八幡神社



▲本宿用水に関する案内板



▲長泉町井上靖文学



(2) 文化芸術・歴史に身近に触れる機会を創出します

- ・まちなかにある彫刻等を活かして、町を散策しながら気軽にアートを楽しめる仕組みを検討します。
- ・歴史と関連性の深いジオサイトや史跡、言い伝えの残る神社等、まちなかにある史跡に親しむための総合的な案内や技術導入を検討します。



▲原分古墳

施策イメージ例

- ・まちなかでのアートフェスティバルの開催
- ・親子で楽しめるアートイベントの開催
- ・町内の美術館等の周遊ツアーの実施
- ・ARを活用した史跡の案内ツールの整備 等

(3) 文化芸術・歴史を活用した交流機会を創出します

- ・文化芸術施設と生活環境の充実を活かし、アーティストとの交流による芸術教育や、アート目的の来訪者との交流機会を検討します。
- ・町の行事やイベントへの参加体験を推奨し、町で築かれてきた文化に親しみながら、町民と来訪者の交流促進に努めます。

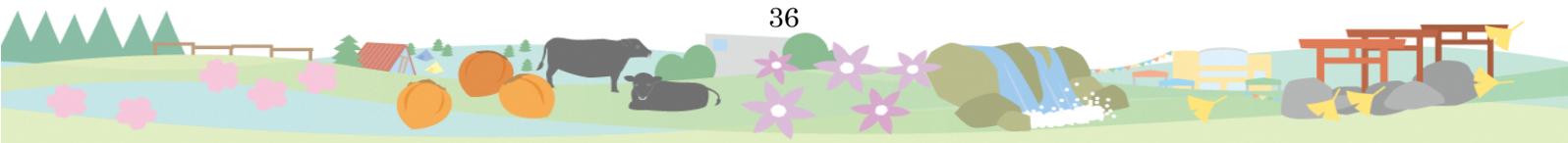


▲さくらフェスタ in 長泉

施策イメージ例

- ・空き家を活用したアーティストインレジデンス⁴事業の展開
- ・行事やイベントへの参加体験サポート人材の育成 等

⁴ アーティストインレジデンス 国内外の芸術家等がある土地に一定期間滞在し、作品制作やリサーチ活動を行うこと。



(1) 新たな味を見つけ、磨きます

- ・素材としても魅力的な特産品が、さらに多様なニーズに対応し、より多くの人に愛されるよう、新たな商品や新規メニューの開発等の魅力磨きを検討します。

施策イメージ例

- ・町内企業と町民の協働プロデュースによる新商品開発事業
- ・一般公募のオリジナルメニューによるグルメイベントの開催
- ・長泉ブランド認定品魅力向上に向けた専門家セミナーの開催 等



▲ニコニコ献立

ちよっとぜいたく

あしたか牛丼

HAPPY SMILE

材料 (4人分)

| | |
|--------------|-------|
| あしたか牛 (小籠切り) | 280g |
| 玉ねぎ | 240g |
| 生椎茸 | 4枚 |
| しらたき | 100g |
| だし汁 | 300cc |
| 砂糖 | 大さじ2 |
| 酒 | 大さじ2 |
| 本みりん | 大さじ2 |
| 薄口しょうゆ | 大さじ5 |
| 卵 | 4ヶ |
| 三つ葉 | 12本 |
| ご飯 | 600g |

① あしたか牛は食べやすい大きさに切る。玉ねぎと生椎茸は薄切りにする。しらたきは食べやすい長さに切り、下茹でする。

② フライパンに①を入れ、火にかけて溜め、①の材料を入れ、フタをして7～8分煮る。

③ 強火にして高汁を煮立たせ、酒きほぐした卵を2回に分けて入れる。フライパンをゆすりながら火を通す。

④ ご飯の上に盛り付け、三つ葉を散らして完成。

【1人分の栄養価：エネルギー586kcal たんぱく質25.3g 脂質18.1g 塩分3.9g】
*1品で主食・副菜・主菜が揃います。



▲長泉あしたかつ



▲長泉町産桃沢わさびいなりずし

(写真：長泉町商工会ホームページ)

(2) 特産品や地場産品を楽しめる機会を増やします

- ・あしたか牛や四ッ溝柿、白ネギ等の特産品や地域の安全安心で新鮮な農畜産物、ブルーベリージャム等の長泉ブランド認定品を気軽に購入できるように、既存の施設や店舗での販売機会の増加や、販路拡大に努めます。
- ・定期的な販売イベント開催やイベントでの出品等により、特産品や長泉ブランド認定品の魅力を伝える機会の増加に向けた取組を検討します。



▲長泉町産業祭

施策イメージ例

- ・ 駅や施設での特産品や長泉ブランド認定品の販売促進
- ・ 下土狩駅等での定期イベントの開催
- ・ ホームページにおける長泉ブランド認定品のPR強化 等

(3) 特産品をきっかけに交流機会を創出します

- ・ 特産品の加工体験等を通じ、特産品をきっかけとした交流促進に努めます。
- ・ 特産品の生産者や販売者、町民等が連携し、特産品を使った店舗開設や料理教室開催等により、町民や来訪者へ町の食文化の魅力を伝えます。

施策イメージ例

- ・ オリジナル料理を提供する日替わり店舗の開設
- ・ 長泉町産業祭等での特産品調理ワークショップの開催
- ・ 長泉ブランド認定品店舗によるマルシェの開催 等



▲とがり table

方針4 健康・運動・スポーツを通じて町の魅力を楽しみます

(1) 誰でも気軽に参加できる健康づくりの機会をつくります

- ・健康増進施設等の積極的活用により、世代や身体能力に拘わらず、誰でも参加しやすい講座開設や、世代間交流を促進する取組を検討します。
- ・長泉町スポーツ協会等と町民が連携し、多様なニーズに対応したスポーツ教室やスポーツフェスティバルの企画・開催等を検討します。
- ・町の施設や既存のツールの有効活用により、気軽に健康づくりをしながらまちなかを周遊する取組を検討します。

施策イメージ例

- ・公園を活用した健康増進イベントの開催
- ・パークゴルフ場を活用した交流
- ・スポーツイベント企画ワークショップの開催
- ・歩数アプリ等を活用した周遊イベントの開催
- ・ウォーキングコース案内サインの整備 等



▲グラウンドゴルフ大会

(2) スポーツを通じて町の魅力を伝えます

- ・スポーツイベントへの参加や観戦時には、美しい自然景観や充実した町の施設、特産品等の魅力的な資源を知り、味わえる機会創出に努めます。
- ・ウェルピアながいずみ等の町内の運動施設が会場となるスポーツ大会やスポーツイベントを積極的に開催することにより、町外からの来訪者を招き、スポーツを通じて広域圏での交流が生まれる機会を充実します。

施策イメージ例

- ・魅力を楽しむ長泉町スポーツイベントの開催
- ・町内スポーツ施設を主会場とする広域スポーツ大会の開催
- ・町内スポーツ施設に関する情報発信の強化 等



▲長泉町ライド



▲四ッ溝柿クロカンロードレース

(3) 連携体制を活かします

- ・スポーツチームとのパートナーシップ協定や、近隣市町との連携を活用し、プロ選手への応援やサポート、教室開設等により、プロ選手も町や町民を好きになれるような新たな交流機会の創出を検討します。
- ・プロ選手と町民、関連団体間のサポート体制構築により、プロ選手と連携した取組のきっかけづくりに努めます。

施策イメージ例

- ・プロ選手によるスポーツレクチャーの実施
- ・プロ選手との連携によるPRコンテンツ作成
- ・プロスポーツの応援ツアー 等



▲サッカー教室



▲パートナーシップ連携事業

方針5 身近な魅力を活かします

(1) 身近な魅力を再発見します

- ・町での暮らしの魅力や日常生活の中で愛着を持つ町の資源及び場所等、身近な町の魅力を分かち合う機会づくりを進め、町民自らが町の魅力を再発見します。
- ・新たに町に移住してきた人や、通勤・通学者、もしくは町へ愛着をもつ町外在住者との交流を通じて、町民自らが、様々な視点から町の魅力に新たに気づきます。

施策イメージ例

- ・身近な魅力を再発見するイベントやワークショップ等の開催
- ・移住者や町外在住者による観光交流コンテンツの企画 等

(2) 身近な魅力で交流機会を生み出します

- ・来訪者が、仕事や買い物等日常の何気ない機会に、町の魅力や人のあたたかさを知り、コミュニケーションを気軽に楽しめる機会を増やします。
- ・長泉わくわく祭り等の町内でのイベントや町民団体の活動、あるいは充実した子育て環境等を活かして、来訪者や移住者が進んで交流する場面づくりや、町民が自ら町へ友人や知人を招き、町の身近な魅力を知る機会創出に努めます。

施策イメージ例

- ・公共空間の交流スペースとしての活用
- ・移住者を対象とした町内バスツアー
- ・コミュニティカフェ等の開設
- ・子育てイベントやにぎわい交流イベントの開催・支援 等



▲長泉わくわく祭り



▲ももざわ軽トラ市

(3) 若者から町の魅力をつなげます

- ・若者が多い町の特徴を活かして、町での交流機会の創出により、町の暮らしの魅力を知らせる取組や、首都圏並びにその他地域の在住者が本町に来訪するきっかけづくりを進めます。
- ・若者を中心に、地域や企業等と連携して、子どもたちが町の魅力を知り、誇りを持つような活動へ参画する機会づくりに取り組みます。

施策イメージ例

- ・若者や学生（中高生・未来人等）によるイベント開催
- ・若者や学生（中高生・未来人等）と地域・団体のコラボ事業
- ・若者や学生（中高生・未来人等）による子どもの遊び場運営
- ・企業との協働による子どもの職業体験 等



▲未来人ワークショップ
(コミュニティながいずみの有効活用方策の検討)



▲下土狩駅前サテライトキャンパス

方針6 交通ネットワークを活かします

(1) 広域交通体系を活かして広域圏から人を招きます

- ・本町は、東京や名古屋の大都市圏、伊豆半島の結節点にあり、これらの地域と新東名高速道路長泉沼津 IC や JR 三島駅等で結ばれている広域交通の優位性を活かし、広域圏からの誘客に向けた情報発信に取り組みます。
- ・本町の入り口となる交通の拠点では、広域圏からの来訪者が立ち寄りたくなるような魅力づくりに努めます。



▲長泉花いっぱい倶楽部による植栽

施策イメージ例

- ・大都市圏での町の情報発信の強化
- ・ICや駅周辺等、町の玄関口における修景活動によるイメージ向上 等

(2) 町内の魅力的な移動手段を充実します

- ・鉄道や路線バス、コミュニティバス等の既存の公共交通を活かしつつ、観光交流に活用できるようダイヤやルート等の改善に努めます。
- ・観光交流と地域公共交通を両立できるよう、地域資源や施設へと直接アクセスできる移動手段を研究します。
- ・シェアサイクル等の環境に配慮した手軽な移動手段の導入と活用促進方策を進めます。



▲シェアサイクル（ハレノヒサイクル）

施策イメージ例

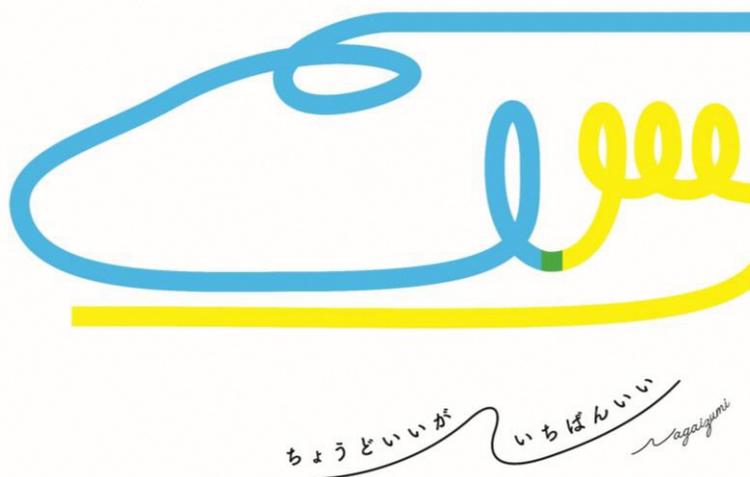
- ・地域資源や施設を周遊する巡回バスの運行
- ・パークアンドライドの推進に向けた駐車場と巡回バスの接続検討
- ・民間事業者と連携したシェアサイクル予約システムの利便性向上 等

(3) 新技術を活用して交通利便性を高めます

- ・ 交通利便性を高めるために、シームレスな移動を実現するモビリティサービス等の新技術活用を検討します。
- ・ 有効活用できる区間やエリアにおいて、マイクロモビリティ⁵やグリーンスローモビリティ⁶等、環境に配慮した手軽な移動手段の導入と活用方策を研究します。

施策イメージ例

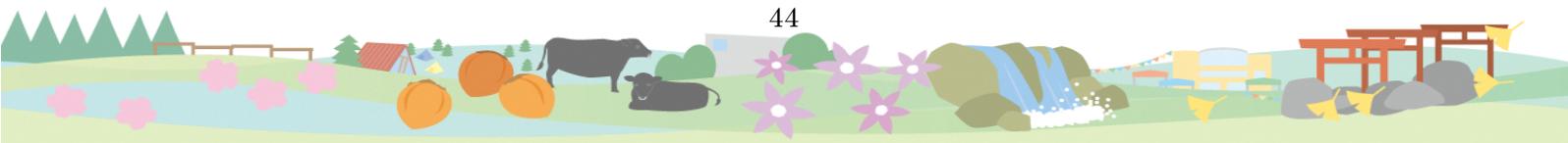
- ・ 観光MaaS⁷の導入によるワンストップ案内システムの構築
- ・ マイクロモビリティ体験イベントの開催
- ・ グリーンスローモビリティ実証実験の実施 等



⁵マイクロモビリティ 自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる1～2人乗り程度の車両。

⁶グリーンスローモビリティ 時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した移動サービスであり、その車両も含めた総称。

⁷観光 MaaS MaaS(=Mobility as a Service、複数の交通手段による移動を、移動ニーズごとに最適に組み合わせ、経路検索・予約・決済等を一括で行うサービス)の観光目的対応版で、モビリティサービスに加えて観光施設のチケット購入や体験プログラムの予約、観光ニーズに合わせたフリーパスの発行等のサービスを行う。



方針7 自ら魅力を伝えます

(1) 媒体の特性を活かして効果的な情報発信をします

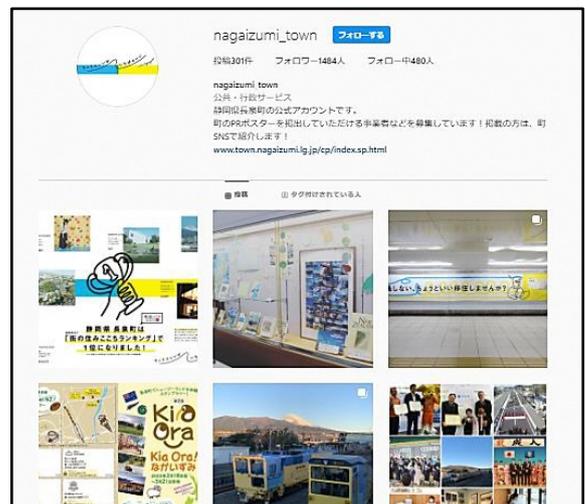
- ・資源やルートをワンストップで提示するシステム構築やメディア作成、町内の案内サインの整備等により、町内の豊富な資源の効果的な活用を図ります。
- ・広報誌や各種 SNS の特性にあった文書や写真、動画等を用いて、効果的な情報発信に取り組みます。

施策イメージ例

- ・観光交流関連イベント総合案内ホームページやSNSの運用
- ・効果的な情報取得に向けたハッシュタグや検索タグの活用
- ・各種SNSにおける運用指針の整備
- ・ながいずみ観光交流協会ホームページの機能充実
- ・案内誘導サイン（公共サイン）の整備 等



▲ながいずみ観光交流協会ホームページ



▲長泉町公式Instagram



▲ジオサイト案内サイン

(2) 町民目線で町の魅力を伝えます

- ・情報発信について、町民参加の場を設けるなど、町民の視点を含んだ「地元ならではの」の魅力発信を行います。
- ・「地元ならではの」の情報発信や交流機会創出に向けて、町民や町民団体が各自の得意分野や独自の視点を活かした案内や講座の開催等を検討します。

施策イメージ例

- ・町民参加型PRコンテンツ作成ワークショップの開催
- ・「未来人の扉」の充実
- ・町民ガイド育成講座の開催
- ・長泉ママラッチ等と協働した観光交流向けSNS運用 等



▲長泉ママラッチ

(3) 町外に町の魅力を届けます

- ・町にルーツがある人材や来訪経験者との連携により、町の魅力をより広域に届けるための取組を行います。

施策イメージ例

- ・町出身者や転出した未来人等による長泉町情報共有ツールの構築
- ・民間企業やアンバサダーの選出によるPR事業の展開 等

方針8 持続可能な観光交流を推進します

(1) 社会情勢や時代の変化へ柔軟に対応した観光交流を推進します

- ・新型コロナウイルス感染症等の感染症流行下の新しい生活様式や、社会情勢及び時代の変化に対応し、安全・安心かつ持続可能な観光交流を柔軟に展開できる体制構築を進めます。
- ・観光DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、オンライン技術を活用した町の紹介や各種案内を行います。

施策イメージ例

- ・デジタル技術を活用したツアー等の開催
- ・オンライン体験プログラムの開発
- ・アプリを活用した観光交流案内システムの構築 等



▲ながいすみ観光交流協会
会員交流研修オンラインツアー



▲感染症対応訓練

(2) 誰もが気兼ねなく来訪できる観光交流を実現します

- ・人種や国籍、民族や宗教、ジェンダーや年齢、障がいの有無等による不利益を生まないよう、誰もが町を楽しめる多様なニーズへ対応したプログラムの構築や、柔軟なサポート体制の構築等に加え、ハード面におけるユニバーサルデザイン整備等を検討します。
- ・施設等における子育てサポートのためのハード整備や子連れ向け旅行ツアーの開発等、子連れや家族連れにやさしい観光交流や空間の実現に向けた検討をします。
- ・多様なニーズや個々の懸念に合わせたサポート体制構築に向けて、観光交流におけるユニバーサルデザインの考え方に理解を深める学習機会をつくります。



▲ヴァンジ彫刻庭園美術館での取り組み
(音声案内によるナビゲーションアプリの活用)

施策イメージ例

- ・音声案内ツールや多言語での案内サイン等の整備
- ・介助やサポート人材の育成に向けた講座の開設
- ・来訪者の状況に合わせた体験プログラムの検討
- ・バリアフリー対応施設等の一括検索システムの構築
- ・各施設や公園の男女トイレ並びに多目的トイレへのおむつ交換台設置の支援
- ・子育て支援施設機能充実への補助 等

(3) 環境にやさしい観光交流を推進します

- ・観光交流に関する施設やイベントの開催においては、周辺環境と調和をした再生可能エネルギーの適正導入の検討や、再生可能エネルギーを活用した持続可能な開発のための教育及び実践に努めます。
- ・特に食に関するイベント開催時には、フードバンクの実施や食品調達量の調整等、フードロスの削減に取り組めます。

施策イメージ例

- ・再生可能エネルギー導入に関わる支援制度の検討
- ・イベント開催における再生可能エネルギーの使用推進
- ・フードロス削減の効果的な手法の検討 等

方針9 推進体制を整備します

(1) 町内の観光交流関係者のネットワークを構築します

- ・町、ながいずみ観光交流協会や町民団体、町内施設の指定管理者が、町の観光交流に関する情報交換や協議ができるネットワークの構築を検討します。
- ・施設や資源は南北に広く点在していることから、施設間の連携強化を図るための取組や、効果的なPR並びに活用等を図り、観光交流の活性化に繋がります。
- ・施策を実行する際には、観光交流のネットワークを活用して、一体的かつ効率的に取組を進めます。

施策イメージ例

- ・観光交流に関わる多様な団体が意見交換をするプラットフォームの開設
- ・観光交流に係わる各種施設が連携した観光交流イベントの開催
- ・各種施設の利用規約の見直し及びオンライン予約システム等の構築 等



▲長泉町観光交流ビジョン検討ワーキングの様子

(2) 近隣地域との連携体制を構築します

- ・各分野において、伊豆半島や周辺の観光地等との連携体制の活用並びに構築により、一体的な情報発信や広域連携でのイベント開催等を行い、観光交流に活用します。



▲近隣市町の企業と連携したイベント

施策イメージ例

- ・美しい伊豆創造センターとの協働によるジオパークの情報発信
- ・周辺の観光地との連携によるプラン等の企画
- ・周辺の観光施設との連携による町内の施設PRの強化 等

(3) 町民や町民団体の交流や連携を促進します

- ・町民参加の観光交流施策検討ワークショップの開催や、町民目線の施策を実現するなど、町民が主体的に観光交流に関わる仕組みを構築します。
- ・世代間交流の促進や新規移住者等の気軽な参加が実現するようなイベント開催等を企画検討します。

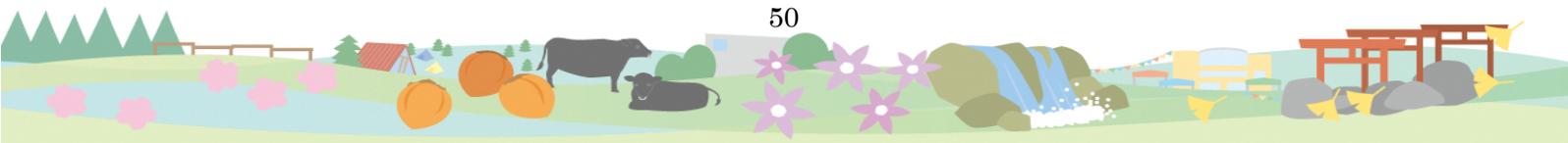
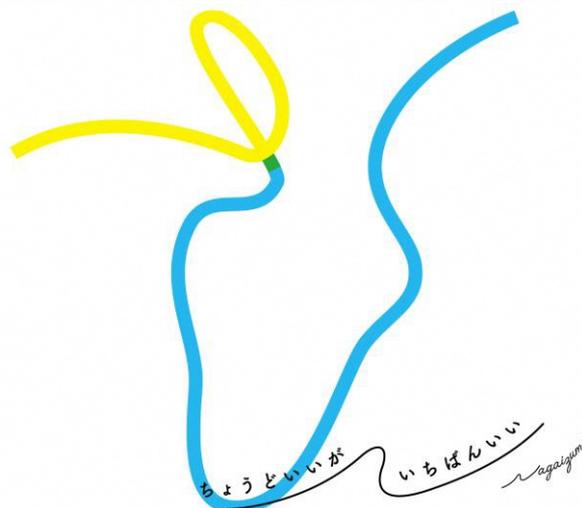


▲未来人ワークショップ

(コミュニティながいずみの有効活用方策の検討)

施策イメージ例

- ・町民提案の施策実現支援制度の構築
- ・未来人ワークショップを活用した施策検討 等





長泉町



長泉町観光交流ビジョン

令和4年3月 長泉町 産業振興課

〒411-8668 静岡県駿東郡長泉町中土狩 828 電話:055-989-5516